

# 公益社団法人日本地球惑星科学連合

## 平成 29 年度 定時社員総会

### 資料

日 時 平成 29 年 5 月 23 日（火） 15 時 30 分～16 時 30 分  
場 所 千葉幕張メッセ国際会議場 2 階 コンベンションホール B  
(〒261-0023 千葉市美浜区中瀬 2-1)

1. 会長挨拶
2. 定数確認
3. 議長選任

#### 目的事項

##### 報告事項

- (1) 平成 28 年度 活動報告概要
- (2) 平成 28 年度（公益社団法人第 6 期）事業報告の件
- (3) 平成 29 年度（公益社団法人第 7 期）事業計画書及び収支予算書等の件
- (4) 学協会長会議開催報告
- (5) その他

##### 決議事項

- (1) 第 1 号議案 平成 28 年度（公益社団法人第 6 期）決算承認の件
- (2) 第 2 号議案 定款一部変更の件（第 7 条、第 27 条）
- (3) 第 3 号議案 法人運営基本規程一部変更の件（第 6 条、第 15 条）

|    |                                                 |
|----|-------------------------------------------------|
| 資料 | 1. 平成 28 年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1～33       |
|    | 2. 平成 29 年度事業計画書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 34～47     |
|    | 3. 平成 29 年度収支予算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 48        |
|    | 4. 平成 28 年度決算報告書                                |
|    | 1) 貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 49                |
|    | 2) 正味財産増減計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 50～51         |
|    | 3) 正味財産増減計算書内訳表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 52         |
|    | 4) 財産目録・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 53                 |
|    | 5) 財務諸表に対する注記及び附属明細書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 54～55 |
|    | 6) 監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 56～58             |
|    | 5. 定款第一部変更の件（第 7 条、第 27 条）・・・・・・・・・・ P. 59～60   |
|    | 6. 法人運営基本規程一部変更の件（第 6 条、第 15 条）・・・・・・・・・・ P. 61 |



# 平成 28 年度 事業報告

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

公益社団法人日本地球惑星惑星科学連合

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階

電話：03-6914-2080

Fax：03-6914-2088

# 平成 28 年度 事 業 報 告

公益社団法人第 6 期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

公益社団法人日本地球惑星科学連合が定款に定める事業の概要は以下の通りである。

## 1. 地球惑星科学に関わる研究発表会及び国際会議等の開催

- （１）日本地球惑星科学連合 2016 年大会（連合大会）の開催 [定款第 5 条（１）]
- （２）公開プログラム「高校生によるポスター発表」の開催 [定款第 5 条（１）、（２）]
- （３）一般公開講演会の開催 [定款第 5 条（２）]
- （４）「スペシャルレクチャー」の開催 [定款第 5 条（２）]
- （５）地球惑星科学関連の研究教育機関・学協会・プロジェクト・民間企業の紹介および展示、地球惑星科学関連書籍・機器・資料の展示・頒布 [定款第 5 条（７）]

## 2. 学会誌その他の刊行物の発行と情報発信

- （１）学術雑誌等の出版の高度化 [定款第 5 条（２）]
- （２）加盟学協会による学術誌等の出版推進 [定款第 5 条（２）]
- （３）ニュースレター誌「Japan Geoscience Letters (JGL)」の発行 [定款第 5 条（２）]
- （４）ウェブ、メールニュースを活用した広報・普及事業 [定款第 5 条（２）]

## 3. 地球惑星科学コミュニティの意見集約と国および社会一般への諸要請への対応

- （１）学協会長会議の開催 [定款第 5 条（３）]
- （２）地球惑星科学コミュニティの意見集約 [定款第 5 条（３）（６）]

## 4. 地球惑星科学に関わる外国学協会との連携と国際プロジェクトの推進

- （１）地球惑星科学に関わる国際学協会との連携及び協力 [定款第 5 条（４）]
- （２）国際科学（地学・地理）オリンピック活動支援 [定款第 5 条（２）]

## 5. 地球惑星科学知見の社会還元

- （１）複合的自然災害への対応と科学的提言の発信 [定款第 5 条（５）]
- （２）複合的自然災害リテラシーの普及 [定款第 5 条（５）]

## 6. 委員会等活動

- （１）セクション・サイエンスボード活動 [定款第 5 条（３）（６）]
- （２）顕彰制度 [定款第 5 条（１）（２）]
- （３）各種委員会活動 [定款第 5 条（１）～（７）]

以下に、個別の事業の状況について述べる。

## I. 事業の状況

### 1. 地球惑星科学に関わる研究発表会及び国際会議等の開催

地球惑星科学の一層の発展に寄与することを目的とし、当該科学に関連する研究、教育に携わる、あるいは関心を持つ全ての人々を対象に、公開で学術大会を開催し、学術講演、ポスター発表による関連分野の研究発表、情報交換の場を設けることを目的として、日本地球惑星科学連合大会（以下、「連合大会」という。）を開催した。連合大会の開催に関連して、講演募集、プログラム編成、ユニオン・パブリックセッションの設定、アウトリーチプログラムの企画等、に関わる事業を行った。

#### （1）日本地球惑星科学連合 2016 年大会（連合大会）の開催

日本地球惑星科学連合 2016 年大会（Japan Geoscience Union Meeting 2016）

会 期：2016 年 5 月 22 日（日）～26 日（木）5 日間

会場：幕張メッセ国際会議場、アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張

主催：日本地球惑星科学連合

後援：47 団体

協賛：日本高圧力学会、日本サンゴ礁学会、公益社団法人 日本天文学会、

公益社団法人 日本地震工学会、公益社団法人 土木学会、

公益社団法人 地盤工学会、公益社団法人 日本地すべり学会、公益社団法人砂防学会

#### □ 開催セッション数：194

| セッションカテゴリー  | 開催数 | うち、国際セッション数 |
|-------------|-----|-------------|
| U: ユニオン     | 6   | 2           |
| O: パブリック    | 6   |             |
| P: 宇宙惑星科学   | 21  | 10          |
| A: 大気水圏科学   | 24  | 10          |
| H: 地球人間圏科学  | 28  | 11          |
| S: 固体地球科学   | 63  | 21          |
| B: 地球生命科学   | 8   | 3           |
| G: 教育アウトリーチ | 4   | 1           |
| M: 学際・広領域   | 34  | 5           |
| 計           | 194 | 63          |

（参考：過去開催セッション数：2015 年 189 件、2014 年 193 件、2013 年 180 件、2012 年 174 件、  
うち、国際セッション数：2015 年 55 件、2014 年 43 件、2013 年 42 件、2012 年 42 件）

#### □ 講演投稿数

・ 発表論文数：4515 件（2015 年 4037 件、2014 年 3806 件、2013 年 3980 件）

口頭発表 2435 件（2015 年 2545 件、2014 年 2428 件、2013 年 2226 件）

ポスター 2080 件（2015 年 1492 件、2014 年 1378 件、2013 年 1754 件）

※ポスターは高校生セッションの 79 件を含む

□ 参加者数

- ・参加者数：7240 名（2015 年 6689 名，2014 年 7046 名，2013 年 6824 名）  
早期参加登録者数：4284 名  
一般 2975，小中高教員 31，大学院生 1061，シニア 80，学部生 118，高校生 19
- 通常参加登録者数：1203 名  
一般 542，小中高教員 12，大学院生 177，シニア 52，学部生 401，高校生 19
- 同伴者 20 名
- アウトリーチ参加者：1169 名  
パブリックセッション一般参加者 523  
高校生セッション関係者 269  
ジオパーク関係者 191  
中学生アウトリーチ企画参加者 88  
高校生アウトリーチ企画参加者 98
- 出展関係者：336 名
- 会合参加者：97 名
- プレス：131 名

□ 出展関係

- ・団体展示：68 ブース（2015 年 65，2014 年 80，2013 年 63）  
※2014 年は大学インフォメーションパネルを含む数
- ・大学インフォメーションパネル：10 ブース（2015 年 11，2013 年 11）
- ・書籍出版（関連商品）：26 ブース（2015 年 26，2014 年 27，2013 年 25）
- ・パンフレットデスク：5 ブース（2015 年 7，2014 年 7，2013 年 10）
- ・学協会エリア 個別デスク：11 ブース（2015 年 10，2014 年 10，2013 年 9）
- ・Special Exhibition：5 ブース

□ その他

- ・会期中開催会合数：116（学協会総会等関連：46，連合関連：29，一般：41）
- ・アルバイト：367 名

（2）公開プログラム「高校生によるポスター発表」の開催

連合大会において、高校生を対象とした公開プログラム「高校生によるポスター発表」を開催し、高校生の研究成果発表に対して研究者や一般の参加者が聴講し意見交換を行ない、また優秀発表を表彰した。

開催日：2016 年 5 月 22 日（日）

場 所：幕張メッセ国際会議場

主 催：公益社団法人日本地球惑星科学連合 広報普及委員会

責任者 原 辰彦（独立行政法人建築研究所、広報普及委員会副委員長）

発表数：78 件

#### 参加高校：48 校

池田学園池田高等学校、東京都立多摩科学技術高等学校、群馬県立太田女子高等学校、鹿児島玉龍高等学校、佐野日本大学高等学校、福井県立藤島高等学校、兵庫県立西脇高等学校 地学部、栄東高等学校、東筑紫学園高等学校、群馬県立前橋女子高等学校、宮城県古川黎明高等学校、福井県立若狭高等学校、愛知県立一宮高校、茨城県立日立第一高等学校、慶應義塾志木高等学校、奈良県立青翔高等学校、兵庫県立加古川東高等学校、山口県立萩高等学校、千葉県立長生高等学校、那須高原海城高等学校、東京都立南平高校、福島県立磐城高等学校、長野県諏訪清陵高等学校、千葉県立成東高等学校、宮城県利府高等学校、学校法人滝学園滝高等学校、大阪府立春日丘高等学校 定時制の課程、静岡県立磐田南高等学校、長野県屋代高等学校、宮城県仙台第三高等学校、福島県立安積高等学校、遺愛女子中学校・高等学校、海城高等学校、京都府立嵯峨野高等学校、土佐塾高等学校、東京都立両国高等学校、長野県飯山高等学校、神戸女学院高等学部、五ヶ瀬中等教育学校、学校法人本郷高等学校、滋賀県立米原高等学校地学部、北海道札幌開成高等学校、獨協埼玉中学高等学校、茨城県立並木中等教育学校、神戸大学附属中等教育学校、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校、山梨県立日川高等学校、大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎

(発表順)

#### 最優秀賞 (1件)

北海道札幌開成高等学校『IC と噴石の落下角度関係』

#### 優秀賞 (3件)

群馬県立前橋女子高等学校『国際宇宙ステーションの見やすさ予測』

兵庫県立加古川東高等学校『花崗岩の風化が及ぼす土砂災害へ影響』

神戸大学附属中等教育学校『火星のクレータカウントによるオリンポス山周辺の年代推定』

#### 奨励賞 (8件)

東京都立多摩科学技術高等学校 『廃棄泥炭の持つ可能性』

群馬県立前橋女子高等学校 『暗闇で見つけた!光の色による見えやすさの違い』

那須高原海城高等学校 『ライトカーブと 3-D モデルから探る小惑星の表面特性』

静岡県立磐田南高等学校『大気光波動観測システムの構築と縞構造を伴うエルブスの関係』

海城高等学校 『月が夜空の明るさに与える影響』

東京都立両国高等学校 『遠い地震ほど揺れないか? 東京周辺の距離減衰と地盤特性を調べる』

神戸女学院高等学部 『デジタル一眼レフカメラによる大気補正係数の推定』

滋賀県立米原高等学校地学部(地質班) 『最終氷期の古環境復元』

#### (3) 一般公開講演会の開催

社会に対する地球惑星科学関連の研究成果の広報・普及活動を通して、地球惑星科学の発展に資するとともに、安全・安心な社会の構築に寄与することを目的に、一般講演会を開催した。5月の連合大会においてパブリックセッションを開催するとともに、11月には「秋の公開講演会 2016」を開催した。

□ 連合大会パブリックセッション

開催日：2016年5月22日（日）連合大会開催期間中

場 所：幕張メッセ国際会議場

1. 「次期学習指導要領で求められる資質・能力の達成を目指して」
2. 「高校生によるポスター発表」
3. 「地球・惑星科学トップセミナー」
4. 「ジオパークへ行こう」
5. 「地球科学界と原子力発電の関係 ― 浜岡原発を題材として ―」
6. 「JpGU 所属の学生・研究者にとってのダイバーシティ推進とは何か？」

□ 日本地球惑星科学連合秋の公開講演会 2016

開催日：11月27日（日）

場 所：東京大学本郷キャンパス 小柴ホール

講師：原田 尚美（海洋研究開発機構）「二酸化炭素問題と海洋生態系」

平田 直（東京大学地震研究所）「熊本地震災害と日本の地震災害」

（4）スペシャルレクチャーの開催

学部生や院生を主たる対象として、連合大会会期中の昼食時にスペシャルレクチャーをシリーズで開催する。今年度は、前年の地球惑星科学振興西田賞の受賞者を講師に迎え開催した。

5月22日（日）

河北 秀世（京都産業大学神山天文台）

「分子の原子核スピン異性体比と彗星」

三好 建正（理化学研究所 計算科学研究機構）

「データ同化の進展と広がり」

5月23日（月）

是永 淳（イエール大学）

「地球の熱史モデルはどのように構築されてきたのか？」

渡部 雅浩（東京大学大気海洋研究所）

「近年の気候変化のメカニズムと要因分析」

5月24日（水）相川 祐理（筑波大学）

「星・惑星系形成領域の分子進化：星間物質から惑星物質へ」

竹村 俊彦（九州大学応用力学研究所）

「エアロゾルによる気候変動 ― 数値モデルの開発と影響評価」

5月28日（木）

鈴木 建（東京大学）

「計算機の中で太陽風を吹かせる」

（5）地球惑星科学関連、教育機関、学協会、プロジェクトの紹介・展示、地球惑星科学関連資料・



## 書籍の展示・頒布

地球惑星科学に関連した教育機関、学協会、ならびに各種プロジェクトについて、関係者のみならず、高校生を含む一般に紹介・広報することを目的に、プロジェクトを推進する諸機関、団体に対して連合大会会場にて展示活動を支援する場を設けた。これらの紹介・展示に関わる募集活動、展示準備作業等を行った。

また毎年、多数の地球惑星科学に関連する書籍、資料が公刊されているが、それらに対するアクセスは必ずしも容易ではないことから、連合大会の折に、これらを多数展示し、頒布するための場を設けて、地球惑星科学関連の研究、教育に携わる人々や、高校生を含む一般の方々に利用促進をはかった。これらの活動に必要な手配や現場での作業を行った。

団体展示：68 ブース（2015 年 65、2014 年 80、2013 年 63、2012 年 43、2011 年 44）

大学インフォメーションパネル：10 ブース（2015 年 11、2013 年 11、2012 年 13、2011 年 11）

書籍出版（関連商品）：26 ブース（2015 年 26 ブース、2014 年 27、2013 年 25、2012 年 29）

パンフレットデスク：5 台（2015 年 7、2014 年 7、2013 年 10、2012 年 8）

学協会エリア 個別デスク：11 ブース（2015 年 10、2014 年 10、2013 年 9、2012 年 10）

## 2. 学会誌その他の刊行物の発行と情報発信

### （1）学術雑誌等の出版の高度化

2014 年 4 月に初版が発刊された連合のオープン・アクセス（OA）電子ジャーナル「Progress in Earth and Planetary Science（PEPS）」の編集・出版事業を通じて国際情報発信力強化に取り組んだ。

日本学術振興会からの科学研究費補助金（研究成果公開促進費）を有効に活用し、PEPS への論文投稿及び引用を促進するための施策を推進した。具体的には、①2013～15 年度に引き続き、2016 年連合大会の発表の中からコンビーナー推薦の優秀発表への投稿依頼、②2014～15 年度において成果のあった、ジャーナル特別国際セッション及びジャーナル関連特別シンポジウムにおける旅費の支援と原稿依頼、③一般投稿も受け付ける開放型特集号 SPEPS（SPecial call for Excellent Papers on hot topicS）の推進、④HTML メールによる定期的な投稿案内等を実施した。さらに、新たな取り組みとして、データ論文の受付を開始した。当初は Excel 等の添付ファイルで扱える範囲のデータを対象とする。

また、新ジャーナルの認知度を高めるために、EGU、Goldschmidt、AOGS、GSA、AGU 等の国際会議へのブース出展や、連合参加学会が主催する会議に紹介を依頼するなどして、広報活動に努めた。さらに、ジャーナルの活性化を図るために表彰制度を設け、初年度はアクセス数の多い上位 3 論文を Most accessed 賞として表彰した。また、ホームページを充実し、日本語 Abstract や SNS を活用して出版論文を紹介し、引用促進にも取り組んだ。なお、出版開始から 2 年半で 100 本を超える論文を出版し、その約 3 割を Review 論文が占める。

さらに、ジャーナルの評価基準のひとつである学術文献・引用検索データベース（Thomson Reuter の WOS 及び Elsevier の SCOPUS）への採録申請を行い、Thomson Reuter 社の担当部署を訪問して補足説明を行った。

また、関係他誌と連携方針について意見交換を行った。

## (2) 加盟学協会による学術誌等の出版推進

連合加盟学会による十数種の国際誌出版を数えると、全体としては AGU、EGU に匹敵していることに鑑み、国際誌を出版する学協会に連合ロゴの掲載を依頼するなど、日本の地球惑星科学のジャーナルの「見える化」の促進に取り組んだ。具体的には、ロゴ掲載ジャーナルの連合のホームページ上での紹介、海外で開催される国際学術大会で連合ブース出展、連合加盟学協会が出版する学術誌の展示等を行うなど、地球惑星科学及び関連科学の学術出版物の広報普及支援を実施した。

## (3) ニュースレター誌「Japan Geoscience Letters (JGL)」の発行

研究の推進から得られた科学的成果を広く地球惑星科学コミュニティ及び社会一般に広報し、普及させることを目的とするニュースレター誌「JGL」を昨年同様に年間4号定期発行した。ニュースレター誌「JGL」の発行日、部数は以下のとおりである。

| 発行日              | No.           | 発行部数     |
|------------------|---------------|----------|
| 平成 28 年 5 月 1 日  | Vol. 11 No. 2 | 33,000 部 |
| 平成 28 年 8 月 1 日  | Vol. 11 No. 3 | 26,600 部 |
| 平成 28 年 11 月 1 日 | Vol. 11 No. 4 | 26,200 部 |
| 平成 29 年 2 月 1 日  | Vol. 12 No. 1 | 26,200 部 |

## (4) ウェブ、メールニュースを活用した広報・普及事業

連合ウェブサイトや毎月定期配信を行う連合メールニュース等を通して、地球惑星科学に関連する各種ニュースとともに、国内外の学会、シンポジウム、研究集会、公開イベントの情報や、求人・公募情報等の情報提供を行った。今期は、基幹となるウェブシステムを新たに整備するとともに、毎月、定期的に連合メールニュースを配信した。

| 発行日             | No.     | 種別   |
|-----------------|---------|------|
| 2016 年 4 月 11 日 | No. 267 | 4 月号 |
| 2016 年 4 月 15 日 | No. 268 | 臨時号  |
| 2016 年 4 月 22 日 | No. 269 | 臨時号  |
| 2016 年 4 月 26 日 | No. 270 | 臨時号  |
| 2016 年 4 月 28 日 | No. 271 | 臨時号  |
| 2016 年 5 月 6 日  | No. 272 | 臨時号  |
| 2016 年 5 月 10 日 | No. 273 | 臨時号  |
| 2016 年 5 月 10 日 | No. 274 | 5 月号 |
| 2016 年 5 月 12 日 | No. 275 | 臨時号  |
| 2016 年 5 月 17 日 | No. 276 | 臨時号  |
| 2016 年 5 月 24 日 | No. 277 | 臨時号  |
| 2016 年 6 月 10 日 | No. 278 | 6 月号 |
| 2016 年 7 月 11 日 | No. 279 | 7 月号 |
| 2016 年 8 月 10 日 | No. 280 | 8 月号 |
| 2016 年 9 月 1 日  | No. 281 | 臨時号  |
| 2016 年 9 月 12 日 | No. 282 | 9 月号 |
| 2016 年 9 月 20 日 | No. 283 | 臨時号  |

|                  |         |       |
|------------------|---------|-------|
| 2016 年 10 月 11 日 | No. 284 | 10 月号 |
| 2016 年 10 月 19 日 | No. 285 | 臨時号   |
| 2016 年 11 月 10 日 | No. 286 | 11 月号 |
| 2016 年 11 月 17 日 | No. 287 | 臨時号   |
| 2016 年 12 月 12 日 | No. 288 | 12 月号 |
| 2017 年 1 月 11 日  | No. 289 | 1 月号  |
| 2017 年 2 月 10 日  | No. 290 | 2 月号  |
| 2017 年 3 月 10 日  | No. 291 | 3 月号  |

### 3. 国及び社会一般からの諸要請に対応した地球惑星科学コミュニティにおける意見集約とこれに基づく提言

地球惑星科学コミュニティの意見を集約するとともに、日本学術会議を含む国及び社会一般への諸要請への対応に関わる要請に対応するために、以下の活動を行なった。

#### (1) 学協会長会議の開催

国内の地球惑星科学及び関連分野の研究者を対象に、学協会長会議を年に2回開催して、地球惑星科学コミュニティの意見集約を行うとともに、自然科学に関わる国内外の情勢についての情報交換を行なった。連合理事会からの諮問、及び学協会や日本学術会議から提案される重要な課題について議論し、意見集約と対外的情報発信を行なった。

##### 第14回学協会長会議

期日：2016 年 5 月 23 日（水）

場所：幕張メッセ国際会議場 コンベンションホール B

##### 第15回学協会長会議

期日：2016 年 10 月 25 日（火）

場所：東京大学地震研究所 1 号館 2 階セミナー室

（〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1）

#### (2) 地球惑星科学コミュニティの意見集約

国及び社会一般からの諸要請に基づき、地球惑星科学コミュニティの意見集約と、コミュニティへの情報伝達を行なった。特に、日本学術会議が発出する声明を連合ウェブやメールニュース、関連メーリングリストを通じて地球惑星科学コミュニティへの周知をサポートした。

また、学術会議からの依頼に基づき連合大会会期中に全国地球惑星科学系専攻長・学科長懇談会を開催した。

##### 全国地球惑星科学系専攻長・学科長懇談会

日 時： 2016 年 5 月 22 日（連合大会会期中）

場 所： 幕張メッセ 国際会議場 102 号室

- 主 催：日本学術会議地球惑星科学委員会、日本地球惑星科学連合大学及び大学院教育小委員会
- 内 容：全国の地球惑星科学系専攻長・学科長が一同に会し、地球惑星科学系大学の発展と大学院教育の在り方についての情報交換。

#### 4. 地球惑星科学に関わる外国学協会との連携と国際プロジェクトの推進

##### (1) 地球惑星科学に関わる国際学協会との連携及び協力

我が国の地球惑星科学コミュニティーを代表して、地球惑星科学に関する国際的な研究協力、交流の推進を図るために、ヨーロッパの EGU、米国の AGU、アジアの AOGS 等の国際的な学協会と連携協力しながら、地球惑星科学の発展に資する活動を行い、地球惑星科学に関わる国際会議等の企画、開催、国際的プロジェクトの支援等を行うための準備を進めた。EGU、AOGS とは、それぞれが主催する学術大会において共通のセッションを設けた。また、海外で開催される関連学会において、ブースを設置し、日本国内で得られた成果に関する広報、資料頒布等の海外学会展示を実施した。

- ・GOLDSCHMIDT 2016 ブース出展  
日程：2016 年 6 月 26 日～7 月 1 日  
会場：横浜
- ・AOGS 13th Annual Meeting ブース出展  
日程：2016 年 8 月 2 日～7 日  
会場：北京（中国）
- ・AGU Fall Meeting 2016 ブース出展  
日程：2016 年 12 月 12 日～16 日  
会場：サンフランシスコ（アメリカ合衆国）

##### (2) 国際科学（地学・地理）オリンピック活動支援

###### 1) 国際地学オリンピック活動支援

国際地学オリンピックなどの国際的な活動を通じて、多くの高校生がサイエンスにより深く触れる機会を提供することを目的に、以下の地学オリンピック事業に関連する支援と活動を進めた。

- ・8 月 20 日から 27 日まで三重県にて第 10 回国際地学オリンピック日本大会が 26 か国・地域、100 名の選手、10 名のオブザーバーが参加して開催された。開会式・閉会式・試験会場は三重大学、国際協力野外調査は熊野市で行った。日本は金メダル 3、銀メダル 1 の過去最高の成績であった。
- ・3 月 12 日から 14 日につくば市で開催された第 9 回日本地学オリンピック本選にて、「日本地球惑星科学連合賞」として、本選で最優秀成績を獲得した女性に賞状ならびに記念品の授与を行い、参加高校生のモチベーションの向上を図り、本活動への支援の強化を行った。
- ・2017 年 8 月 22 日から 29 日に開催される第 11 回国際地学オリンピック・フランス大会の予選が 2016 年 12 月 18 日に行われた。

###### 2) 国際地理オリンピック活動支援

- ・8月16日（火）～22日（月）に中国・北京で開催された世界大会に日本代表選手4名が参加した。44か国・地域から172名の高校生が参加した同大会では、銀メダル2、銅メダル1を獲得した。また、個人の受賞の他に、ポスターセッションでは「吉祥寺の自転車駐輪問題とその解決策」についてプレゼンテーションを行い、ポスター賞を受賞した。この賞は全参加国・地域の44チームの中から4チームが選ばれるもので、日本チームは第3位に輝いた。

## 5. 地球惑星科学知見の社会還元

地球惑星科学の研究成果を統合的な形で社会へ還元し、科学的提言を発信した。

- ・2016年5月30日 教育検討委員会より、『高等学校「理科」の基礎が付された全4科目必修化に関する提言―すべての高校生が地球人としての科学リテラシーを修得することを目指して―』を中央教育審議会および文部科学省初等中等教育局へ発出した。

## 6. セクション・サイエンスボード、及び委員会等活動

### （1）サイエンスボード活動

多様な分野を含む地球惑星科学を、一定の基準のもとにくくり、各々の分野の更なる発展をめざすサイエンスボードを組織し、個々のサイエンスを長期的な視点から、強力に支援する活動を推進した。

#### □ 宇宙惑星科学セクション

- ・2016年5月25日（水）17時半～18時半の間、幕張メッセ国際会議場の203号室でサイエンスボードミーティングを開催した。セクションボードメンバーは選挙で選ばれた代議員を含む28名である。
- ・連合大会では宇宙惑星科学関連21セッションを開催し、その内、約半数の10セッションを国際セッションとして開催した。
- ・昨年同様、学生優秀発表賞表彰をおこなった。190件をこえる審査対象から最終的に18件を選んだ。審査の過程では、多くの宇宙惑星科学セクション登録会員に審査員として協力していただいた。

#### □ 大気水圏科学セクション

##### 1) 連合大会に関する活動

- ・2016年度連合大会においてNASAと連携したユニオンセッション「Earth and Planetary satellite observation projects Part I」を共同で開催した。また、大気水圏科学セクション関連セッションの招聘講演者に旅費を支給した。
- ・2016年度連合大会においてセクションボードメンバー及び代議員を招集しセクションボードミーティングを開催した。また、学生優秀発表の審査、高校生セッションの審査、一般・報道向けのハイライト論文の選出を行った。
- ・JpGU-AGU Joint Meeting に向けてセッション提案の呼びかけを行い、また、プログラム案の

作成を行った。

## 2) 大気水圏科学分野に関係する研究集会の支援

- ・名古屋大学宇宙地球環境研究所が主催した研究集会「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進：地球惑星科学の連携と防災への貢献」をセクションとして後援した（名古屋、2016年9月13-14日）。
- ・陸水物理研究会が主催した研究集会「陸水物理研究会 2016 年度帯広大会」をセクションとして協賛し、会議開催にかかる費用の一部を援助した（帯広、2016年11月12-13日）。
- ・北海道立総合研究機構環境科学研究センターなどが主催した研究集会「第4回大気エアロゾルシンポジウム -ブラックカーボン-」をセクションとして協賛し、会議開催にかかる費用の一部を援助した（札幌、2016年11月25日）。
- ・東京大学大気海洋研究所などが主催した国際会議「第4回非静力学モデルに関する国際ワークショップ(The 4th International Workshop on Nonhydrostatic Numerical Models)」をセクションとして協賛し、会議開催にかかる費用の一部を援助した（箱根、2016年11月30日-12月2日）。

## 3) 地球観測の将来計画に関する提言

- ・今後の宇宙開発体制のあり方に関する「タスクフォース会合・リモートセンシング分科会(TF)」コミュニティの地球科学研究高度化ワーキンググループの活動に参加した。

## □ 地球人間圏科学セクション

- ・セクションの活動を活性化するために、セクションボードに新たなメンバーを迎え充実させた。
- ・2016年連合大会においてセクションボードミーティングを開催し学生表彰についての議論を行った。
- ・2016年連合大会において H-SC04 “Implementing Geoscience Research for the Earth’s Future” ほかの AGU とのジョイントセッションを行い JpGU と AGU の協働につなげた。
- ・2016年連合大会において U-05 “Future Earth - 持続可能な地球へ向けた統合的研究” を他セクションと共同で開催した。
- ・2016年連合大会において学生発表賞の選考と表彰についての活動を行った。選考委員長を1名から2名に増員し、ボードメンバー全員で選考にあたることにした。
- ・2017年開催の連合大会開催に向けセッション提案を呼びかけ、国際セッションの提案につなげた。
- ・2017年 JpGU-AGU JointMeeting のプログラム委員として堀和明氏、七山太氏を選出し、その任務にあたっていた。
- ・地球人間圏科学セクションのボードメンバーのミーティング 2017年1月末に開催し、翌年度の活動方針を話し合う機会を設けた。
- ・地球人間圏科学セクションに関わる若手研究者の学会活動を支援するためにメール審議を行い、今年度中に開催予定の国際会議、国内会議で発表を行う学生支援を決め、選考

過程を検討した。

- ・地球環境問題、大規模災害、フューチャー・アースに対応するシンポジウムとして日本学術会議学術フォーラム「持続可能な社会の実現に向けた草の根活動の振興—IYGU の試み」ほかの開催を支援し、日本学術会議地球惑星科学委員会活動との連携(シンポジウム、ロードマップ、大型研究計画など)をはかった。
- ・ジオユニオン活動（IGU 大会、ICA 大会など）との連携を進めた。

#### □ 固体地球科学セクション

- ・連合大会時にセクションボードメンバーを招集しセクションボード会合を開催した(2016 年 5 月 24 日)。
- ・セクションボードのメンバーを確認し、メンバーの継続を承認するとともに、今後 2 年間の新たな執行部を選出した。
- ・セクションボード会合では、固体地球関係のハイライト論文を選定した。また、2 年の期限に至った地球深部研究フォーカスグループの活動を評価し、審議のうえ、さらに 2 年間のこのフォーカスグループの活動の継続を承認した。
- ・連合大会時に固体地球科学セクションの地球深部研究フォーカスグループのビジネス会合を開催した。このフォーカスグループでは、2016 年のジョイントセッションについて、AGU 側の MRP と SEDI と連絡をとりあい、ジョイントセッションの開催を可能にした。
- ・前年度に引き続いて学生発表賞の選考と表彰:選考委員 2 名体制で選考方法を改善した。
- ・新たに参加したボードメンバーをホームページに加えるなど、ホームページを定期的に更新し充実させた。
- ・セクションの内部構造を構築するために、国際セッションのコンビーナーを中心に、内部組織としてのフォーカスグループの創設を支援した。その結果、掘削と海底地震を扱う新たなフォーカスグループの設立の検討に入った。来期には正式に立上げを検討する。
- ・2016 年の AGU とのジョイントとして 19 セッションを開催し、それらに旅費の支援をおこなった。2017 年のジョイントミーティングに向けて AGU 側の 2016 年のジョイントセッションのコンビーナーとの継続的な連携を可能にした。
- ・このセクションの褒賞制度を充実させるために、連合の顕彰委員会と緊密に連携して新たな褒賞制度を検討した。
- ・2017 年のジョイントミーティングにむけて、固体地球科学セクションのプログラム委員を拡充した。

#### □ 地球生命科学セクション

- ・連合大会でハイライト論文を選考した。
- ・連合大会の地球生命科学関連セッションで学生賞の審査を行った。
- ・連合大会期間中にセクションボードのビジネスミーティングを開いた。
- ・セクションの活動を活性化させるために、サイエンスボードに新たに 6 名の新メンバーを加え（合計 23 名）、メンバーを充実させた。
- ・学生賞対応、広報普及、総務委員会対応、ジャーナル編集、ダイバーシティ推進（ボー

- ド外のメンバー)の各委員を選出した(いずれも前年度からの留任)。
- ・広報活動として、ニュースレター誌 JGL へのハイライト執筆者候補(複数名)を地球生命科学セッション会員の中から推薦した。
  - ・バイスプレジデント、顕彰、プログラム、大会運営の各委員を選出した(一部新規委員を含む)。
  - ・プログラム委員と大会運営委員は継続性を持たせるため、毎年半数交代とすることを決めた。
  - ・顕彰委員は今後バイスプレジデントが兼務することを決めた。
  - ・国際学術委員会はすでにグローバル戦略委員会として発展解消していたため、「国際担当」委員の役割は廃止することを決めた。
  - ・連合大会の活性化と若手支援を骨子とする 2017 年事業計画の策定を行った。
  - ・2016 年 8 月 29 日から 9 月 2 日にオランダ・ユトレヒトで開催された 12th International Conference on Paleoceanography (ICP12)に参加する 2 名の若手研究者に旅費の支援を行った(公募による選考)。
  - ・来年度の連合大会に向けて地球生命科学関連セッションの提案を呼びかけた。

## (2) 顕彰制度関連活動

### 1) 連合大会における「学生優秀発表」の表彰

学生優秀発表賞は、5 回目の実施である。前回に引き続き、参加セッションは全セッションに及んだ。また、学生優秀発表賞のシステムの充実を図り、制度の安定的な運営を目的に、審査のための WEB システムの刷新を行った。

### 2) 連合フェローの顕彰

2016 年度フェロー 14 名の顕彰を行った。また、2017 年度フェロー候補の募集と審査を行った。

### 3) 地球惑星科学振興西田賞授賞式の表彰

第 2 回地球惑星科学振興西田賞受賞者の公募と審査を行った。

## (3) 各種委員会活動

理事会の取り決めにより委員会を組織して、各種事業を進めた。

### □ 総務委員会

- ・公益社団法人の円滑な運営に向けて諸規則の制定を行った。
- ・総会資料と理事会開催資料を事務局との協働により行った。
- ・共催、協賛、後援等の外部折衝と理事会への照会を行った
- ・事務局の運営に関して監修と助言を行った。

### □ 財務委員会

- ・中期的展望に基づいて安定的に日本地球惑星科学連合を運営するために、財務面で重要な項目を精査するため、今後 5 年間程度の間に経常的経費以外に各委員会で必要となる



経費について調査を実施した。

- ・ 2016 年 12 月 22 日（木）14:00～16:45 日本地球惑星科学連合事務局にて委員会を開催した。
- ・ 平成 28 年度決算書、平成 29 年度予算書を策定した。

#### □ 広報普及委員会

- ・ 連合 2016 年大会でパブリックセッション「高校生によるポスター発表」及び「地球・惑星科学トップセミナー」を開催した。
- ・ 「地球・惑星科学トップセミナー」の映像を記録して動画配信を行った。
- ・ 中高生のための「NASA-JAXAハイパーウォール講演会」を行った。
- ・ 2016 年 11 月 27 日（日）東京大学本郷キャンパス小柴ホールにて「日本地球惑星科学連合秋の公開講演会 2016 変動する地球－地震・生態系を探る最新研究」を開催した。映像を記録して動画配信を行った。
- ・ ニュースレター誌 JGL を年間 4 号発行し、会員のほか加盟学協会、高等学校、関連企業等に配布のほか、pdf 版を連合 Web に掲載した。
- ・ ニュースレター誌 JGL の特集ページとして 2016 年度フェロー受賞者の記念文集を掲載し、pdf 版を連合 Web に掲載した。
- ・ メールニュース定期号を年間 12 件、臨時号を年間 13 件発信した。
- ・ 連合ウェブで連合の活動や関連トピックスを画像ニュースとして公開した。
- ・ 連合ウェブで様々なお知らせやニュース等の情報発信を行った。
- ・ 「高等学校「理科」の基礎が付された全 4 科目必修化に関する提言」及び「熊本・大分地震災害に関する声明」のプレスリリースを行った。
- ・ その他、連合の活動及び地球惑星科学分野での最新トピックスや日本学術会議の活動をコミュニティ内外に迅速に伝えるための活動を行った。

#### □ 環境災害対応委員会

- ・ 2016 年連合大会において、ユニオンセッション「連合は環境・災害にどう向き合っているのか？」を開催した。
- ・ 2016 年 5 月 25 日（水）幕張メッセ国際会議場 201B 号室にて委員会を開催した。・ 委員会ホームページ (<http://www2.jpgu.org/n-dis/>) 上で各学協会が発信している災害関連情報へのリンクを集約した。
- ・ 2016 年 8 月 27 日（土）・28 日（日）に東京大学で開催された第 1 回防災推進国民大会において、日本学術会議・防災学術連携体主催シンポジウム『52 学会の結集による防災への挑戦-熊本地震における取組み』で連合の活動を報告した。また、連合の活動についてポスターで紹介をした。
- ・ 2016 年 11 月 8 日（火）広島大学東京オフィス 408 会議室にて委員会を開催した。
- ・ 2016 年 12 月 1 日（木）日本学術会議主催公開シンポジウム：第 2 回防災学術連携シンポジウム『激甚化する台風・豪雨災害とその対策』において連合の学際的な取り組みについて報告した。

#### □ ダイバーシティ推進委員会

- ・キャリアパスアンケートについては、今年から初めて英語版のアンケートも用意し、実施した（1月～5月）。解析結果については、ウェブサイト等で結果報告を実施（通年）
- ・2016 連合大会でパブリックセッション「JpGU 所属の学生・研究者にとってのダイバーシティ推進とは何か？」を開催した。
- ・2016 連合大会でキャリアパス支援ブースの運営を行った。新聞社、出版社、科学館関係者などを含む計7人がブースの相談員として担当した。今年からポスター会場が場所を移し、そこの距離が離れていたためか、相談者がいつもの年より少なかった。
- ・2017 連合大会で保育室の運営を行った。
- ・男女共同参画学協会連絡会に出席するとともに若手研究者育成 WG 活動を行った（通年）。10月8日（土）に開催された同連絡会主催のシンポジウムに参加し、ポスター発表による連合の宣伝を行った。
- ・女子中高生夏の学校に参加（8月6日（土）～8日（月））し、実験実習、ポスター展示、進路相談、国際交流などの多様な企画を協賛した。
- ・キャリア関係シンポジウムは、2017年1月20日（金）に弘前大学で開催予定である。「若手研究者へのキャリアパスミニシンポジウム」というタイトルで若手研究者3名による講演で、地方では初の開催となる。今後も地方での開催を模索したい。
- ・委員会ウェブの整備を実施している（通年）。
- ・ダイバーシティ推進委員会の face to face 会議を2月に開催予定である。

#### □ 教育検討委員会

##### （1）学校教育および社会教育に関わる諸活動

- ・2016年4月2日 第67回教育課程小委員会開催（私立海城高校）  
パブリックセッションの座長、次期学習指導要領改訂に向けた新「地学基礎」の内容、文科省への提言案への対応について検討した。
- ・2016年4月24日 第68回教育課程小委員会開催（連合会議室）  
パブリックセッションの講演用紙冊子の編集及びセッション当日の準備、新「地学基礎」の内容、文科省への提言案への対応、地学教育フォーラム交流会の内容について検討した。
- ・2016年5月22日 連合大会パブリックセッション（地学・地理教育シンポジウム）開催（幕張メッセ）  
「次期学習指導要領で求められる資質・能力の達成を目指して」というテーマで開催し、地理及び地学の基礎的科目の内容、いわゆるアクティブ・ラーニングの実践を取り上げ、議論を行った。
- ・2016年5月22日 教育検討委員会総会開催（幕張メッセ）  
各小委員会の活動報告、平成27年度の活動方針を討議した。
- ・2016年8月11日 第70回教育課程小委員会開催（連合会議室）  
新「地学基礎」の内容（特に評価の観点）について検討した。
- ・2017年1月21日 第71回教育課程小委員会開催（私立海城高校）

新「地学基礎」の提言案の最終文言案、JpGU2017 大会パブリックセッションの準備、今後の小委員会の活動方針（学校教育における用語問題、地学基礎の教科書の作成、全国の地学教育を支援・リードする取組）について検討した。

- ・2016 年 7 月 31 日、8 月 1 日 京都大学生存圏研究所研究集会  
京都大学生存圏研究所研究集会「地球惑星科学の持続的発展を目指す教育の将来像」の開催に協力し、本委員会教育課程小委員会委員 4 名が発表を行った。
- ・2016 年 10 月 30 日 日本学術会議 地球惑星科学委員会 地球惑星科学人材育成分科会 地学地理教育用語検討小委員会 第 1 回会合（連合会議室）  
同小委員会へ本委員会から 2 名、本委員会教育課程小委員会から 4 名も委員として加わり、JpGU 会員 19 名（うち、オブザーバー 6 名）（うち、日本学術会議会員・連携会員 7 名）にて同小委員会第 1 回会合を開催した。会合では、今後の活動方針、具体的な作業内容に関して検討した。
- ・教員免許状更新講習の次年度開催に向け準備を行った。また、引き続き（公社）日本地震学会が主催する講習数件に教育検討委員会のメンバー数名が講師として参加した。
- ・理数系学会教育問題連絡会に引き続き委員を派遣した。2016 年度は 4 回会合があり、全会合に本委員会からの委員数名が出席し報告を行い、議論に参加した。
- ・2016 年 5 月 30 日 次期高等学校学習指導要領に関連し、高等学校「理科」の基礎が付された全 4 科目必修化に関する提言提言を文科省へ提出した。
- ・2016 年 8 月 7 日 国立女性教育会館主催「女子中高生夏の学校」に古生物と有孔虫の実験実習並びに展示を実施した。

## （2）国際科学（地学・地理）オリンピック活動支援

### 1）国際地学オリンピック活動支援

国際地学オリンピックなどの国際的な活動を通じて、多くの高校生がサイエンスにより深く触れる機会を提供することを目的に、以下の地学オリンピック事業に関連する支援と活動を積極的に進めた。

- ・8 月 20 日から 27 日まで三重県にて第 10 回国際地学オリンピック日本大会が 26 か国・地域、100 名の選手、10 名のオブザーバーが参加して開催された。開会式・閉会式・試験会場は三重大学、国際協力野外調査は熊野市で行った。日本は金メダル 3、銀メダル 1 の過去最高の成績であった。
- ・3 月 12 日から 14 日につくば市で開催された第 9 回日本地学オリンピック本選にて、「日本地球惑星科学連合賞」として、本選で最優秀成績を獲得した女性に賞状ならびに記念品の授与を行い、参加高校生のモチベーションの向上を図り、本活動への支援の強化を行った。
- ・2017 年 8 月 21 日から 29 日に開催される第 11 回国際地学オリンピック・フランス大会の予選が 2016 年 12 月 18 日に行われた。

### 2）国際地理オリンピック活動支援

- ・8 月 16 日（火）～22 日（月）に中国・北京で開催された世界大会に日本代表選手 4 名が参加した。44 か国・地域から 172 名の高校生が参加した同大会では、銀メダル 2、銅メダル

1 を獲得した。また、個人の受賞の他に、ポスターセッションでは「吉祥寺の自転車駐輪問題とその解決策」についてプレゼンテーションを行い、ポスター賞を受賞した。この賞は全参加国・地域の 44 チームの中から 4 チームが選ばれるもので、日本チームは第 3 位であった。

### (3) 教員免許状更新講習の開催準備

- ・教員免許状更新講習の次年度開催に向け準備を行った。開設機関としての認定準備が整ったことから 11 月 10 日に教員免許状開設機関としての認定申請を文部科学省に対して行い、11 月 22 日に認定された。これを受け、2017 年 1 月に 3 件、2 月に 1 件の講習開設申請を行い、2 月に 3 件、3 月に 1 件が開設を認められた。

### □ 情報システム委員会

- ・MyJpGU において採用中でオープンサイエンスにおいて重要とされる研究者の国際 ID「ORCID」について、JpGU が正式な登録機関となり毎年会費を納入することを理事会に提案し、承認を得た。ORCID を MyJpGU 以外の学会運営にも活用する方法について検討し、会員データベースに ORCID の項目を追加するための準備を開始した。ORCID の特色や意義を会員に伝えるために、ニュースレター JGL に連載を行うことを決め、Vol. 12 No. 4 (2016 年 11 月) に第一回目の記事を掲載した。
- ・連合大会の運営システムの新システムへの移行について、事務局と連携して必要なシステム改修・開発を行い、2017 年大会のためのセッション提案、編成、予稿投稿、などを支援した。
- ・AGU 関係者と次年度の連合大会におけるオープンサイエンス・セッションの共同開催について調整を行った。

### □ ジャーナル企画経営委員会

- ・2016 年 4 月 28 日：メール会議にてジャーナル企画経営委員会を開催、PEPS の表彰制度と受賞者及び JpGU-AGU joint meeting2017 における PEPS 特別セッション開催について審議し、H27 年度会計、H27 年度実行計画、中間評価結果についての報告を行った。
- ・2016 年 10 月 20 日：メール会議にてジャーナル企画経営委員会を開催、JpGU-AGU joint meeting2017 PEPS 特別セッション提案の採択について検討した。
- ・2016 年 11 月 1 日：メール会議にてジャーナル企画経営委員会を開催、JpGU-AGU joint meeting2017 特別セッション追加提案の採択について審議した。
- ・2016 年 1 月 7 日：メール会議にてジャーナル企画経営委員会を開催、JpGU-AGU joint meeting2017 PEPS 特別セッションの追加募集実施について審議した。

### □ ジャーナル編集委員会

- ・2016 年 4 月 8 日：浜松町 WTC コンファレンスセンターにおいて編集長会議を開催、新設する表彰制度、連合大会の配布資料等について検討した。
- ・2016 年 5 月 22 日：TKP ガーデンシティ幕張にて編集委員会議を開催 (25 名参加、内 2 名外国人編集委員)、現状報告、Wos 採録申請への取組の紹介、出版倫理についての議論、Springer

による 2015 年レポートの報告と今後の取組について紹介があった。

- 2016 年 6 月 13 日：北海道大学ファカルティハウスにおいて編集長会議を開催、Authorship に関する内規整備と周知方法、DataPublication 出版準備、及び現状の問題点（図の解像度、漢字使用など）について検討した。また、参加学協会との JpGU のロゴ掲載契約について報告された。
- 2016 年 6 月 22 日：編集委員会メール会議にて、Authorship について議論した。
- 2016 年 7 月 26 日：浜松町 WTC コンファレンスセンターにおいて編集長会議を開催、Authorship に関するメール会議総括、投稿テンプレートの見直し、DataPublication の投稿ガイドライン案等について検討した。
- 2016 年 9 月 16 日：神戸スペースアルファにおいて編集長会議を開催、投稿システム上の条件付き Decision の扱い、著者からの問い合わせ対応について検討し、DataPublication の準備状況を確認した。また、WOS と Scopus への採録申請の提出の報告、悪質論文の出版防止のために東大・東北大・岡山大等で発生した研究の捏造・改竄を例に情報共有を行った。
- 2016 年 11 月 8 日：浜松町 WTC コンファレンスセンターにおいて編集長会議を開催、DataPublication の投稿受付の最終確認、PEPS の新規表彰制度、学会論文賞への論文推薦、投稿テンプレートの問題点等について検討した。会議後、オーストラリアのジャーナルコンサルテーション会社 INLEXIO との会合を開催した。
- 2016 年 12 月 7 日：エッサム神田ホールにおいて NICT の村山先生（JpGU 情報システム委員会副委員長）を迎え、データペーパー会合を開催した。村山先生からは「オープンサイエンスの国内外動向～科学技術政策における学術データの取り扱い」についての紹介があり、PEPS からは新しく取り組む Data paper 論文への取組を説明し、情報・意見交換を行った。

#### □ 大会運営委員会

- 2016 年連合大会を開催し、その準備及び運営にあたった。
- 2017 年連合大会を JpGU-AGU Joint Meeting として開催するための準備を行った。
- 2016 年 4 月 11 日東京大学理学部 1 号館にて大会運営委員会を開催した。
- 8 月 19 日東京大学理学部 1 号館にて大会運営委員会を開催した。
- 9 月 1 日より 10 月 13 日まで開催セッションの提案を受け付けた。
- 10 月 21 日京都大学東京オフィス（新丸の内ビルディング）にて第 1 回プログラム委員会を開催した。JpGU、AGU 両者から選出されたプログラム委員が出席した。
- 11 月 10～12 日 APA Hotel and Resort 海浜幕張 TKP 会議室にて第 2 回プログラム委員会を開催した。JpGU、AGU 両者から選出されたプログラム委員が出席した。  
2 度のプログラム委員会により、開催セッションと開催日程を決定した。
- 12 月 27 日東京大学理学部 1 号館にて大会運営委員会会議を開催した。
- 2017 年 1 月 6 日より 2 月 16 日まで、JpGU-AGU Joint Meeting2017 の投稿を受け付けた。
- コンビーナとプログラム委員会の採択を踏まえ、3 月 10 日に発表プログラムを公開した。
- その他、AGU 側と連携し、大会投稿・参加募集の周知、各種企画立案と準備を行った。

□ グローバル戦略委員会

- ・ 連合大会にて AGU とのジョイントセッションの活性化を推進した。
- ・ 同大会で International Mixer Luncheon を開催した。連携海外組織とミーティングを開催し連携力強化を図った。
- ・ Goldschmidt・AOGS・AGU 等連携海外組織の大会にブース出展をし、連合、ジャーナル、加盟学協会の活動紹介を行った。
- ・ 発信力強化のため、連合ホームページにおける英語ページの充実をはかり、Mission Statement の改訂をおこなった。
- ・ 7 月 14 日、9 月 29 日、2017 年 1 月 17 日グローバル戦略委員会開催を開催した。

□ フェロー審査委員会

- ・ 2016 年 12 月 31 日（土）を締切として、2017 年度日本地球惑星科学連合フェローの候補者募集を行った。
- ・ 2017 年 1 月 30 日（月）学会センタービルにて委員会を開催し、フェロー候補者の審査を行った。

□ 地球惑星科学振興西田賞審査委員会

- ・ 2016 年連合大会において、第 1 回受賞者の特別講演を開催した。
- ・ 2016 年 12 月 15 日（木）を締切として、第 2 回地球惑星科学振興西田賞の候補者公募を行った。
- ・ 3 回の委員会を開催し、受賞者の審査を行った。

## Ⅱ. 処務の状況

### 1. 役員等に関する事項

(1) 公益社団法人第6期会長、理事、監事

| 役 職   |   | 氏 名       | 所 属         |
|-------|---|-----------|-------------|
| 会 長   |   | 川幡 穂高     | 東京大学        |
| 副 会 長 |   | 田近 英一     | 東京大学        |
|       | 〃 | 中村 正人     | 宇宙航空開発機構    |
|       | 〃 | 古村 孝志     | 東京大学        |
| 理 事   |   | 井出 哲      | 東京大学        |
|       | 〃 | ウォリス サイモン | 名古屋大学       |
|       | 〃 | 小口 高      | 東京大学        |
|       | 〃 | 小口 千明     | 埼玉大学        |
|       | 〃 | 奥村 晃史     | 広島大学        |
|       | 〃 | 北 和之      | 茨城大学        |
|       | 〃 | 木村 学      | 東京海洋大学      |
|       | 〃 | 倉本 圭      | 北海道大学       |
|       | 〃 | 瀧上 豊      | 関東学園大学      |
|       | 〃 | 津田 敏隆     | 京都大学        |
|       | 〃 | 中村 昭子     | 神戸大学        |
|       | 〃 | 西 弘嗣      | 東北大学        |
|       | 〃 | 浜野 洋三     | 海洋研究開発機構    |
|       | 〃 | 原田 尚美     | 海洋研究開発機構    |
|       | 〃 | 日比谷 紀之    | 東京大学        |
|       | 〃 | 道林 克禎     | 静岡大学        |
| 監 事   |   | 北里 洋      | 東京海洋大学      |
|       | 〃 | 鈴木 善和     | プラタナス法律事務所  |
|       | 〃 | 氷見山 幸夫    | 北海道教育大学名誉教授 |

(2) 公益社団法人第6期（平成28年度）社員

定款第7条（法人の構成員）第2項により、正会員の中から選出された代議員及び団体会員をもって、公益社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

#### ■ 代議員： 100名

定款第11条（代議員の定数、選出方法、任期及び欠員措置）第2項により、代議員の定数は、80名以上200名以内で社員総会において別に定める数とする。

#### □ 宇宙惑星科学選出 16名

|       |                       |         |                     |
|-------|-----------------------|---------|---------------------|
| 笠羽 康正 | （ 東 北 大 学 ）           | 草野 完也   | （ 名 古 屋 大 学 ）       |
| 倉本 圭  | （ 北 海 道 大 学 ）         | 小久保 英一郎 | （ 国 立 天 文 台 ）       |
| 佐々木 晶 | （ 大 阪 大 学 ）           | 関 華奈子   | （ 名 古 屋 大 学 ）       |
| 高橋 幸弘 | （ 北 海 道 大 学 ）         | 田近 英一   | （ 東 京 大 学 ）         |
| 橘 省吾  | （ 北 海 道 大 学 ）         | 長妻 努    | （ 情 報 通 信 研 究 機 構 ） |
| 中村 昭子 | （ 神 戸 大 学 ）           | 中村 卓司   | （ 国 立 極 地 研 究 所 ）   |
| 中村 正人 | （ 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 ） | 能勢 正仁   | （ 京 都 大 学 ）         |
| 吉川 顕正 | （ 九 州 大 学 ）           | 渡邊 誠一郎  | （ 名 古 屋 大 学 ）       |

#### □ 大気水圏科学選出 19名

|       |             |      |                         |
|-------|-------------|------|-------------------------|
| 伊藤 進一 | （ 東 京 大 学 ） | 沖 理子 | （ 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 ） |
|-------|-------------|------|-------------------------|

蒲生 俊敬 ( 東 京 大 学 )  
 河宮 未知生 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 近藤 豊 ( 国 立 極 地 研 究 所 )  
 佐藤 正樹 ( 東 京 大 学 )  
 坪木 和久 ( 名 古 屋 大 学 )  
 花輪 公雄 ( 東 北 大 学 )  
 原田 尚美 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 日比谷 紀之 ( 東 京 大 学 )  
 吉田 尚弘 ( 東 京 工 業 大 学 )

川合 義美 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 北 和之 ( 茨 城 大 学 理 学 部 )  
 佐藤 薫 ( 東 京 大 学 )  
 津田 敏隆 ( 京 都 大 学 )  
 中村 尚 ( 東 京 大 学 )  
 早坂 忠裕 ( 東 北 大 学 )  
 東塚 知己 ( 東 京 大 学 )  
 安成 哲平 ( 北 海 道 大 学 )

□ 地球人間圏科学選出 14 名

秋本 弘章 ( 獨 協 大 学 )  
 小口 千明 ( 埼 玉 大 学 )  
 近藤 昭彦 ( 千 葉 大 学 )  
 島津 弘 ( 立 正 大 学 )  
 七山 太 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 氷見山 幸夫 ( 北 海 道 教 育 大 学 名 誉 教 授 )  
 松本 淳 ( 首 都 大 学 東 京 )

小口 高 ( 東 京 大 学 )  
 奥村 晃史 ( 広 島 大 学 )  
 佐竹 健治 ( 東 京 大 学 )  
 須貝 俊彦 ( 東 京 大 学 )  
 春山 成子 ( 三 重 大 学 )  
 古谷 勝則 ( 千 葉 大 学 )  
 安成 哲三 ( 総 合 地 球 環 境 学 研 究 所 )

□ 固体地球科学選出 31 名

阿部 なつ江 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 入舩 徹男 ( 愛 媛 大 学 )  
 岩森 光 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 歌田 久司 ( 東 京 大 学 )  
 太田 雄策 ( 東 北 大 学 )  
 鍵 裕之 ( 東 京 大 学 )  
 亀 伸樹 ( 東 京 大 学 )  
 木村 学 ( 東 京 大 学 )  
 久家 慶子 ( 京 都 大 学 )  
 島 伸和 ( 神 戸 大 学 )  
 田中 聡 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 西村 卓也 ( 京 都 大 学 防 災 研 究 所 )  
 橋本 武志 ( 北 海 道 大 学 )  
 林 能成 ( 関 西 大 学 )  
 松澤 暢 ( 東 北 大 学 )  
 山岡 耕春 ( 名 古 屋 大 学 )

井出 哲 ( 東 京 大 学 )  
 岩田 知孝 ( 京 都 大 学 )  
 ウォリス サイモン ( 名 古 屋 大 学 )  
 大久保 修平 ( 東 京 大 学 )  
 大谷 栄治 ( 東 北 大 学 )  
 片山 郁夫 ( 広 島 大 学 )  
 川勝 均 ( 東 京 大 学 )  
 木村 純一 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 篠原 宏志 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 下司 信夫 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 趙 大鵬 ( 東 北 大 学 )  
 西村 太志 ( 東 北 大 学 )  
 浜野 洋三 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 古村 孝志 ( 東 京 大 学 )  
 道林 克禎 ( 静 岡 大 学 )

□ 地球生命科学選出 9 名

井龍 康文 ( 東 北 大 学 )  
 大河内 直彦 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 北村 晃寿 ( 静 岡 大 学 )  
 高野 淑識 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 西 弘嗣 ( 東 北 大 )

遠藤 一佳 ( 東 京 大 学 )  
 川幡 穂高 ( 東 京 大 学 )  
 高井 研 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 高橋 嘉夫 ( 東 京 大 学 )

□ 地球惑星科学総合選出 11 名

阿部 國廣 ( 認 定 P O 法 人 自 然 再 生 セ ン タ ー )  
 小田 啓邦 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 小林 則彦 ( 西 武 学 園 )  
 瀧上 豊 ( 関 東 学 園 大 学 )  
 宮嶋 敏 ( 埼 玉 県 立 深 谷 第 一 高 等 学 校 )  
 横山 広美 ( 東 京 大 学 )

飯田 佑輔 ( 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 )  
 熊谷 英憲 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 佐野 有司 ( 東 京 大 学 )  
 畠山 正恒 ( 聖 光 学 院 中 学 高 等 学 校 )  
 矢島 道子 ( 東 京 医 科 歯 科 大 学 )



■ 団体会員： 50団体

|           |               |               |
|-----------|---------------|---------------|
| 日本宇宙生物科学会 | 生命の起原および進化学会  | 日本地熱学会        |
| 日本応用地質学会  | 石油技術協会        | 地理科学学会        |
| 日本温泉科学会   | 日本雪氷学会        | 日本地理学会        |
| 日本海洋学会    | 日本測地学会        | 日本地理教育学会      |
| 日本火山学会    | 日本大気化学会       | 地理教育研究会       |
| 形の科学会     | 日本大気電気学会      | 地理情報システム学会    |
| 日本活断層学会   | 日本堆積学会        | 東京地学協会        |
| 日本気象学会    | 日本第四紀学会       | 東北地理学会        |
| 日本鉱物科学会   | 日本地学教育学会      | 土壌物理学会        |
| 日本古生物学会   | 地学団体研究会       | 日本粘土学会        |
| 日本沙漠学会    | 日本地下水学会       | 日本農業気象学会      |
| 資源地質学会    | 日本地球化学会       | 物理探査学会        |
| 日本地震学会    | 地球環境史学会       | 日本陸水学会        |
| 日本情報地質学会  | 地球電磁気・地球惑星圏学会 | 陸水物理研究会       |
| 日本水文科学会   | 日本地形学連合       | 日本リモートセンシング学会 |
| 水文・水資源学会  | 日本地質学会        | 日本惑星科学会       |
| 生態工学会     | 日本地図学会        |               |

(3) セクションボード

□ 宇宙惑星科学セクション

|         |               |          |                         |
|---------|---------------|----------|-------------------------|
| 高橋 幸弘   | ( 北 海 道 大 学 ) | 田近 英一    | ( 東 京 大 学 )             |
| 関 華奈子   | ( 東 京 大 学 )   | 長妻 努     | ( 情 報 通 信 研 究 機 構 )     |
| 中村 昭子   | ( 神 戸 大 学 )   | 中村 卓司    | ( 国 立 極 地 研 究 所 )       |
| 橘 省吾    | ( 北 海 道 大 学 ) | 中村 正人    | ( 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 ) |
| 相川 祐理   | ( 筑 波 大 学 )   | 並木 則行    | ( 国 立 天 文 台 )           |
| 牛尾 知雄   | ( 大 阪 大 学 )   | 能勢 正仁    | ( 京 都 大 学 )             |
| 大村 善治   | ( 京 都 大 学 )   | 藤井 良一    | ( 名 古 屋 大 学 )           |
| 笠羽 康正   | ( 東 北 大 学 )   | 藤本 正樹    | ( 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 ) |
| 加藤 雄人   | ( 東 北 大 学 )   | 百瀬 宗武    | ( 茨 城 大 学 )             |
| 草野 完也   | ( 名 古 屋 大 学 ) | 横山 央明    | ( 東 京 大 学 )             |
| 倉本 圭    | ( 北 海 道 大 学 ) | 吉川 顕正    | ( 九 州 大 学 )             |
| 小久保 英一郎 | ( 国 立 天 文 台 ) | フイシン リュー | ( 九 州 大 学 )             |
| 佐々木 晶   | ( 大 阪 大 学 )   | 和田 浩二    | ( 千 葉 工 業 大 学 )         |
| 鈴木 健    | ( 東 京 大 学 )   | 渡邊 誠一郎   | ( 名 古 屋 大 学 )           |

□ 大気水圏科学セクション

|        |                         |       |                     |
|--------|-------------------------|-------|---------------------|
| 蒲生 俊敬  | ( 東 京 大 学 )             | 知北 和久 | ( 北 海 道 大 学 )       |
| 杉田 倫明  | ( 筑 波 大 学 )             | 津田 敏隆 | ( 京 都 大 学 )         |
| 佐藤 薫   | ( 東 京 大 学 )             | 坪木 和久 | ( 名 古 屋 大 学 )       |
| 川合 義美  | ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )     | 東塚 知己 | ( 東 京 大 学 )         |
| 伊藤 進一  | ( 東 京 大 学 )             | 中村 尚  | ( 東 京 大 学 )         |
| 沖 理子   | ( 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 ) | 西井 和晃 | ( 三 重 大 学 )         |
| 神沢 博   | ( 名 古 屋 大 学 )           | 花輪 公雄 | ( 東 北 大 学 )         |
| 河宮 未知生 | ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )     | 早坂 忠裕 | ( 東 北 大 学 )         |
| 北 和之   | ( 茨 城 大 学 )             | 原田 尚美 | ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 ) |

鬼頭 昭雄 ( 筑 波 大 学 )  
 近藤 豊 ( 国 立 極 地 研 究 所 )  
 佐藤 正樹 ( 東 京 大 学 )  
 鈴木 啓助 ( 信 州 大 学 )  
 多田 隆治 ( 東 京 大 学 )  
 谷口 真人 ( 総 合 地 球 環 境 学 研 究 所 )

樋口 篤志 ( 千 葉 大 学 )  
 日比谷 紀之 ( 東 京 大 学 )  
 松本 淳 ( 首 都 大 学 東 京 )  
 村山 泰啓 ( 情 報 通 信 研 究 機 構 )  
 安成 哲平 ( 北 海 道 大 学 )  
 吉田 尚弘 ( 東 京 工 業 大 学 )

#### □ 地球人間圏科学セクション

春山 成子 ( 三 重 大 学 )  
 佐竹 健治 ( 東 京 大 学 )  
 奥村 晃史 ( 広 島 大 学 )  
 近藤 昭彦 ( 千 葉 大 学 )  
 須貝 俊彦 ( 東 京 大 学 )  
 青木 賢人 ( 金 沢 大 学 )  
 秋本 弘章 ( 獨 協 大 学 )  
 荒井 良雄 ( 東 京 大 学 )  
 井田 仁康 ( 筑 波 大 学 )  
 碓井 照子 ( 奈 良 大 学 )  
 海津 正倫 ( 奈 良 大 学 )  
 王 勤学 ( 国 立 環 境 研 究 所 )  
 岡本 耕平 ( 名 古 屋 大 学 )  
 小口 高 ( 東 京 大 学 )  
 小口 千明 ( 埼 玉 大 学 )  
 後藤 和久 ( 東 北 大 学 )  
 島津 弘 ( 立 正 大 学 )  
 鈴木 毅彦 ( 首 都 大 学 東 京 )

鈴木 康弘 ( 名 古 屋 大 学 )  
 瀧上 豊 ( 関 東 学 園 大 学 )  
 中村 俊夫 ( 名 古 屋 大 学 )  
 奈佐原 顕郎 ( 筑 波 大 学 )  
 七山 太 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 西村 拓 ( 東 京 大 学 )  
 氷見山 幸夫 ( 北 海 道 教 育 大 学 名 譽 教 授 )  
 藤本 潔 ( 南 山 大 学 )  
 藤原 広行 ( 防 災 科 学 技 術 研 究 所 )  
 古谷 勝則 ( 千 葉 大 学 )  
 堀 和明 ( 名 古 屋 大 学 )  
 松本 淳 ( 首 都 大 学 東 京 )  
 目代 邦康 ( 日 本 ジ オ サ ー ビ ス 株 式 有 限 公 司 )  
 安成 哲三 ( 総 合 地 球 環 境 学 研 究 所 )  
 山田 育穂 ( 中 央 大 学 )  
 横山 祐典 ( 東 京 大 学 )  
 吉田 英嗣 ( 明 治 大 学 )  
 渡辺 悌二 ( 北 海 道 大 学 )

#### □ 固体地球科学セクション

大谷 栄治 ( 東 北 大 学 )

田中 聡 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 道林 克禎 ( 静 岡 大 学 )  
 池田 剛 ( 九 州 大 学 )  
 入舩 徹男 ( 愛 媛 大 学 )  
 岩森 光 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 ウォリス サイモン ( 名 古 屋 大 学 )  
 歌田 久司 ( 東 京 大 学 )  
 大久保 修平 ( 東 京 大 学 )  
 鍵 裕之 ( 東 京 大 学 )  
 片山 郁夫 ( 広 島 大 学 )  
 金川 久一 ( 千 葉 大 学 )  
 唐戸 俊一郎 ( イ ェ ー ル 大 学 )  
 川勝 均 ( 東 京 大 学 )  
 河上 哲生 ( 京 都 大 学 )  
 川本 竜彦 ( 京 都 大 学 )  
 木村 純一 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )

サティッシュ クマール ( 新 潟 大 学 )  
 マドスーダン

佐野 有司 ( 東 京 大 学 )  
 鈴木 勝彦 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 武井 康子 ( 東 京 大 学 )  
 田所 敬一 ( 名 古 屋 大 学 )  
 中川 光弘 ( 北 海 道 大 学 )  
 中田 節也 ( 東 京 大 学 )  
 中村 美千彦 ( 東 北 大 学 )  
 成瀬 元 ( 京 都 大 学 )  
 西山 忠男 ( 熊 本 大 学 )  
 福田 洋一 ( 京 都 大 学 )  
 古村 孝志 ( 東 京 大 学 )  
 日置 幸介 ( 北 海 道 大 学 )  
 前野 深 ( 東 京 大 学 )  
 松澤 暢 ( 東 北 大 学 )  
 森下 知晃 ( 金 沢 大 学 )  
 吉田 茂生 ( 九 州 大 学 )

#### □ 地球生命科学セクション

遠藤 一佳 ( 東 京 大 学 )  
 磯崎 行雄 ( 東 京 大 学 )  
 小林 憲正 ( 横 浜 国 立 大 学 )

北台 紀夫 ( 東 京 工 業 大 学 )  
 北村 晃寿 ( 静 岡 大 学 )  
 小宮 剛 ( 東 京 大 学 )

生形 貴男 ( 京 都 大 学 )  
 高野 淑識 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 稲垣 史生 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 井龍 康文 ( 東 北 大 学 )  
 上野 雄一郎 ( 東 京 工 業 大 学 )  
 大河内 直彦 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 掛川 武 ( 東 北 大 学 )  
 川幡 穂高 ( 東 京 大 学 )

鈴木 庸平 ( 東 京 大 学 )  
 高井 研 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 高橋 嘉夫 ( 東 京 大 学 )  
 對比地 孝亘 ( 東 京 大 学 )  
 西 弘嗣 ( 東 北 大 学 )  
 藤田 和彦 ( 琉 球 大 学 )  
 山岸 明彦 ( 東 京 薬 科 大 学 )  
 北里 洋 ( 東 京 海 洋 大 学 )

#### (4) 委員会等

##### □ 総務委員会

古村 孝志 ( 東 京 大 学 )      西 弘嗣 ( 東 北 大 学 )

##### □ 財務委員会

北 和之 ( 茨 城 大 学 )      山田 泰広 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 井出 哲 ( 東 京 大 学 )      向山 栄 ( 国 際 航 業 株 式 会 社 )  
 掛川 武 ( 東 北 大 学 )      高野 修 ( 石 油 資 源 開 発 株 式 会 社 )

##### □ 広報普及委員会

田近 英一 ( 東 京 大 学 )      吉本 和生 ( 横 浜 市 立 大 学 )  
 道林 克禎 ( 静 岡 大 学 )      関根 康人 ( 東 京 大 学 )  
 原 辰彦 ( 建 築 研 究 所 )      山田 耕 ( 早 稲 田 大 学 )  
 橘 省吾 ( 北 海 道 大 学 )      久利 美和 ( 東 北 大 学 )  
 成瀬 元 ( 京 都 大 学 )      紺屋 恵子 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )  
 高橋 幸弘 ( 北 海 道 大 学 )      瀧上 豊 ( 関 東 学 園 大 学 )  
 宮本 英昭 ( 東 京 大 学 )      笠井 康子 ( 通 信 総 合 研 究 所 )  
 横山 広美 ( 東 京 大 学 )      飯田 佑輔 ( 関 西 学 院 大 学 )  
 東宮 昭彦 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )      村上 豪 ( 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 )  
 谷 篤史 ( 大 阪 大 学 )      和田 浩二 ( 千 葉 工 業 大 学 )  
 阿部 彩子 ( 東 京 大 学 )      岡 顕 ( 東 京 大 学 )  
 奥村 晃史 ( 広 島 大 学 )      植田 宏昭 ( 筑 波 大 学 )  
 生形 貴男 ( 京 都 大 学 )      後藤 和久 ( 東 北 大 学 )  
 大河内 直彦 ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )      吉澤 和範 ( 北 海 道 大 学 )  
 佐藤 活志 ( 京 都 大 学 )      黒田 潤一郎 ( 東 京 大 学 )

##### □ 環境災害対応委員会

奥村 晃史 ( 広 島 大 学 )      柳澤 教雄 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 井出 哲 ( 東 京 大 学 )      宇根 寛 ( 国 土 地 理 院 )  
 川畑 大作 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )      浅野 敏久 ( 広 島 大 学 )  
 吉田 英嗣 ( 明 治 大 学 )      後藤 真太郎 ( 立 正 大 学 )  
 北 和之 ( 茨 城 大 学 )      村山 良之 ( 山 形 大 学 )  
 田中 賢治 ( 京 都 大 学 )      大月 義徳 ( 東 北 大 学 )  
 竹村 貴人 ( 日 本 大 学 )      作野 裕司 ( 広 島 大 学 )  
 井口 隆 ( 防 災 科 学 技 術 研 究 所 )      知北 和久 ( 北 海 道 大 学 )  
 山里 平 ( 気 象 研 究 所 )      卜部 厚志 ( 新 潟 大 学 )  
 三浦 大助 ( 電 力 中 央 研 究 所 )      鈴木 正哉 ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )  
 塩竈 秀夫 ( 国 立 環 境 研 究 所 )      小俣 雅志 ( 株 式 会 社 パ ス コ )  
 小司 禎教 ( 気 象 庁 気 象 研 究 所 )      松島 信一 ( 京 都 大 学 )  
 葛葉 泰久 ( 三 重 大 学 )      林 武司 ( 秋 田 大 学 )  
 河島 克久 ( 新 潟 大 学 )      青木 久 ( 東 京 学 芸 大 学 )

松本 弾 (産業技術総合研究所)  
 宮地 良典 (産業技術総合研究所)  
 小嶋 浩嗣 (京都大学)  
 岡田 雅樹 (国立極地研究所)

北村 晃寿 (静岡大学)  
 山下 亜紀郎 (筑波大学)  
 益田 晴恵 (大阪市立大学)  
 小口千明 (埼玉大学)

#### □ ダイバーシティ推進委員会

原田 尚美 (海洋研究開発機構)  
 小口 千明 (埼玉大学)  
 若狭 幸 (秋田大学)  
 井岡 聖一郎 (弘前大学)  
 富樫 茂子 (産業技術総合研究所)  
 渡邊 誠一郎 (名古屋大学)  
 小川 佳子 (会津大学)  
 天野 敦子 (産業技術総合研究所)  
 鈴木 由希 (早稲田大学)  
 紺屋 恵子 (海洋研究開発機構)  
 清野 直子 (気象研究所)  
 宋 苑瑞 (東京大学)  
 土屋 範芳 (東北大学)

末吉 哲雄 (国立極地研究所)  
 小杉 緑子 (京都大学)  
 津野 宏 (横浜国立大学)  
 山下 勝行 (岡山大学)  
 藤光 康宏 (九州大学)  
 松山 洋 (首都大学東京)  
 新井 真由美 (日本科学未来館)  
 浜田 盛久 (海洋研究開発機構)  
 守屋 和佳 (早稲田大学)  
 濱村 奈津子 (九州大学)  
 吉川 知里 (海洋研究開発機構)  
 南雲 直子 (土木研究所)  
 古市 剛久 (University of the Sunshine Coast)

齊藤 竜彦 (防災科学技術研究所)  
 宮下 由香里 (産業技術総合研究所)  
 堀 利栄 (愛媛大学)  
 坂野井 和代 (駒澤大学)

高橋 幸弘 (北海道大学)  
 陣 英克 (情報通信研究機構)  
 阿部 なつ江 (海洋研究開発機構)  
 前野 深 (東京大学)

#### □ 教育検討委員会

畠山 正恒 (聖光学院中学高等学校)  
 西 弘嗣 (東北大学)  
 根本 泰雄 (桜美林大学)  
 瀧上 豊 (関東学園大学)  
 宮嶋 敏 (埼玉県立深谷第一高等学校)  
 阿部 國廣 (自然再生センター)  
 縫村 崇行 (千葉科学大学)  
 三田 肇 (福岡工業大学)  
 宮下 敦 (成蹊中学高等学校)

川合 美千代 (東京海洋大学)  
 奥山 康子 (産業技術総合研究所)  
 市川 温 (京都大学)  
 小西 啓之 (大阪教育大学)  
 山田 伸之 (福岡教育大学)  
 南島 正重 (東京都立両国高等学校)  
 林 慶一 (甲南大学)  
 藤光 康宏 (九州大学)  
 飯田 和明 (埼玉県立浦和東高等学校)

西村 光史 (東洋大学)  
 石内 鉄平 (明石工業高等専門学校)  
 島津 弘 (立正大学)

小田 隆史 (宮城教育大学)  
 津野 宏 (横浜国立大学)  
 白井 正明 (東京都立大学)

#### □ 情報システム委員会

小口 高 (東京大学)  
 近藤 康久 (総合地球環境学研究所)  
 村山 泰啓 (情報通信研究機構)  
 坂野井 和代 (駒澤大学)  
 篠原 育 (宇宙航空研究開発機構)

早川 裕弼 (東京大学)  
 古村 孝志 (東京大学)  
 三宅 弘恵 (東京大学)  
 山本 佳世子 (電気通信大学)  
 横山 央明 (東京大学)

#### □ ジャーナル企画経営委員会

川幡 穂高 (東京大学)  
 津田 敏隆 (京都大学)

佐藤 正樹 (東京大学)  
 多田 隆治 (東京大学)

|       |                         |        |                       |
|-------|-------------------------|--------|-----------------------|
| 木村 学  | ( 東 京 海 洋 大 学 )         | 松本 淳   | ( 首 都 大 学 東 京 )       |
| 中村 正人 | ( 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 ) | 倉本 圭   | ( 北 海 道 大 学 )         |
| 田近 英一 | ( 東 京 大 学 )             | 小田 啓邦  | ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 ) |
| 井龍 康文 | ( 東 北 大 学 )             | 西 弘嗣   | ( 東 北 大 学 )           |
| 吉岡 祥一 | ( 神 戸 大 学 )             | 仲江川 敏之 | ( 気 象 研 究 所 )         |

#### □ ジャーナル編集委員会

|        |                   |           |                         |
|--------|-------------------|-----------|-------------------------|
| 井龍 康文  | ( 東 北 大 学 )       | 渋谷 和雄     | ( 国 立 極 地 研 究 所 )       |
| 川幡 穂高  | ( 東 京 大 学 )       | 金谷 有剛     | ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )     |
| 吉岡 祥一  | ( 神 戸 大 学 )       | 池原 研      | ( 産 業 技 術 総 合 研 究 所 )   |
| 佐藤 正樹  | ( 東 京 大 学 )       | 清水 久芳     | ( 東 京 大 学 )             |
| 多田 隆治  | ( 東 京 大 学 )       | 山本 衛      | ( 京 都 大 学 )             |
| 松本 淳   | ( 首 都 大 学 東 京 )   | 長妻 努      | ( 情 報 通 信 研 究 機 構 )     |
| 倉本 圭   | ( 北 海 道 大 学 )     | サイモン・ウォリス | ( 名 古 屋 大 学 )           |
| 小林 憲正  | ( 横 浜 国 立 大 学 )   | 三ヶ田 均     | ( 京 都 大 学 )             |
| 井上 源喜  | ( 大 妻 女 子 大 学 )   | 菊地 俊夫     | ( 首 都 大 学 東 京 )         |
| 日比谷 紀之 | ( 東 京 大 学 )       | 村山 祐司     | ( 筑 波 大 学 )             |
| 中田 節也  | ( 東 京 大 学 )       | 大竹 真紀子    | ( 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 ) |
| 宮内 崇裕  | ( 千 葉 大 学 )       | 千木 良雅弘    | ( 京 都 大 学 )             |
| 大谷 栄治  | ( 東 北 大 学 )       | 早坂 忠裕     | ( 東 北 大 学 )             |
| 平島 崇男  | ( 京 都 大 学 )       | 芳村 圭      | ( 東 京 大 学 )             |
| 遠藤 一佳  | ( 東 京 大 学 )       | 大手 信人     | ( 京 都 大 学 )             |
| 渡辺 寧   | ( 秋 田 大 学 )       | 三浦裕亮      | ( 東 京 大 学 )             |
| 加藤 照之  | ( 東 京 大 学 )       | 八木 勇治     | ( 筑 波 大 学 )             |
| 川勝 均   | ( 東 京 大 学 )       | 掛川武       | ( 東 北 大 学 )             |
| 杉田 文   | ( 千 葉 商 科 大 学 )   | 早川 裕弼     | ( 東 京 大 学 )             |
| 兒玉 裕二  | ( 国 立 極 地 研 究 所 ) |           |                         |

#### □ 大会運営委員会

|       |                     |        |                 |
|-------|---------------------|--------|-----------------|
| 浜野 洋三 | ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 ) | 能勢 正仁  | ( 京 都 大 学 )     |
| 岩上 直幹 | ( な し )             | 近藤 昭彦  | ( 千 葉 大 学 )     |
| 興野 純  | ( 筑 波 大 学 )         | 財城 真寿美 | ( 成 蹊 大 学 )     |
| 高橋 幸弘 | ( 北 海 道 大 学 )       | 赤坂 郁美  | ( 専 修 大 学 )     |
| 道林 克禎 | ( 静 岡 大 学 )         | 和田 浩二  | ( 千 葉 工 業 大 学 ) |
| 中村 昭子 | ( 神 戸 大 学 )         | 小谷 亜由美 | ( 名 古 屋 大 学 )   |
| 北 和之  | ( 茨 城 大 学 )         | 縫村 崇行  | ( 千 葉 科 学 大 学 ) |

#### □ グローバル戦略委員会

|           |                 |       |                              |
|-----------|-----------------|-------|------------------------------|
| 木村 学      | ( 東 京 海 洋 大 学 ) | 末広 潔  | ( 海 洋 研 究 開 発 機 構 )          |
| ウォリス サイモン | ( 名 古 屋 大 学 )   | 藤本 正樹 | ( 宇 宙 航 空 研 究 開 発 機 構 )      |
| 日比谷 紀之    | ( 東 京 大 学 )     | 村山 泰啓 | ( 情 報 通 信 研 究 機 構 )          |
| 高橋 幸弘     | ( 北 海 道 大 学 )   | 橘 省吾  | ( 北 海 道 大 学 )                |
| 蒲生 俊敬     | ( 東 京 大 学 )     | 中村 尚  | ( 東 京 大 学 )                  |
| 春山 成子     | ( 三 重 大 学 )     | 田島 文子 | ( University of California ) |
| 大谷 栄治     | ( 東 北 大 学 )     | 三宅 弘恵 | ( 東 京 大 学 )                  |
| 遠藤一佳      | ( 東 京 大 学 )     | 西 弘嗣  | ( 東 北 大 学 )                  |
| 関 華奈子     | ( 名 古 屋 大 学 )   | 木下 正高 | ( 東 京 大 学 )                  |

#### □ 顕彰委員会

|       |              |           |         |
|-------|--------------|-----------|---------|
| 中村 正人 | (宇宙航空研究開発機構) | 伊藤 進一     | (東京大学)  |
| 津田 敏隆 | (京都大学)       | 奥村 晃史     | (広島大学)  |
| 中村 昭子 | (神戸大学)       | 須貝 俊彦     | (東京大学)  |
| 成瀬 元  | (京都大学)       | ウォリス サイモン | (名古屋大学) |
| 諸田 智克 | (名古屋大学)      | 川勝 均      | (東京大学)  |
| 渡部 重十 | (北海道大学)      | 磯崎 行雄     | (東京大学)  |

□ フェロー審査委員会

非公表

\* 審査委員会規則第6条により、委員名は当該年度の全委員が改選された時点で公表するものとする。

## 2. 役員会等に関する事項

### (1) 平成28年定期社員総会

平成28年5月23日(水) 15:30~16:30、千葉幕張メッセ国際会議場 コンベンションホールBにおいて開催。次の議案が付議され、原案通り承認された。

| 開催月日  | 議 事 事 項                                                                       |                |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 5月23日 | 第1号議案 平成27年度(公益社団法人第5期)決算承認の件<br>第2号議案 役員(理事、監事)選任の件<br>第3号議案 熊本・大分地震災害に関する声明 | 承認<br>承認<br>承認 |

### (2) 理事会

今期中に6回開催した。主要決議事項は以下の通りである。

| 開催月日              | 議 事 事 項                                                                                                                                                                                              |                                        |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 平成28年<br>第1回 5月6日 | 第1号議案 新入会員承認の件<br>第2号議案 委員会委員の承認の件<br>第3号議案 総会議事および資料の承認                                                                                                                                             | 承認<br>承認<br>承認                         |
| 第2回 5月23日         | 第1号議案 代表理事(会長)および業務執行理事選任の件<br>第2号議案 特定費用準備資金取扱規則設置の件<br>第3号議案 賛助会員入会承認の件                                                                                                                            | 承認<br>承認<br>承認                         |
| 第3回 7月14日         | 第1号議案 新入会員承認の件<br>第2号議案 賛助会員入会承認の件<br>第3号議案 委員会委員の承認の件<br>第4号議案 男女共同参画学協会連絡会の第4回大規模アンケート承認の件<br>第5号議案 若手科学者ネットワークへの参加承認の件<br>第6号議案 ORCID利用の経費について<br>第7号議案 地質・地盤情報活用促進に関する法整備推進協議会への会員登録について         | 承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認 |
| 第4回 9月30日         | 第1号議案 新入会員承認の件(古村孝志理事)<br>第2号議案 委員会委員の承認の件(古村孝志理事)<br>第3号議案 法人運営基本規則改定の件(古村孝志理事)<br>第4号議案 『次期高等学校学習指導要領による「地学基礎」の内容精選化の提言』について<br>第5号議案 「団体社員の体制および規則」について<br>第6号議案 大規模アンケート協学会取扱いに関する内規のメール審議依頼について | 承認<br>承認<br>承認<br>継続審議<br>継続審議<br>承認   |

|            |                                                                                                                                                                                                       |                                                |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 第5回 11月25日 | 第1号議案 新入会員承認の件<br>第2号議案 賛助会員入会承認の件<br>第3号議案 委員会委員の承認の件<br>第4号議案 地学教育小委員会の解散の件（西理事）                                                                                                                    | 承認<br>承認<br>承認<br>承認                           |
| 第6回 1月17日  | 第1号議案 新入会員承認の件<br>第2号議案 委員会委員承認の件<br>第3号議案 平成28年度事業報告(案)・決算報告書(案)について<br>第4号議案 平成29年度事業計画書(案)・予算書(案)について<br>第5号議案 ダイバーシティ推進委員会ジェンダーサミット10協賛の件<br>第6号議案 東北大学災害科学国際研究所の共同利用・共同拠点化に向けたサポートレターの発行依頼について   | 承認<br>承認<br>継続審議<br>継続審議<br>承認<br>承認           |
| 第7回 3月23日  | 第1号議案 新入会員承認の件<br>第2号議案 委員会委員承認の件<br>第3号議案 2017年度連合フェロー認定について<br>第4号議案 第2回地球惑星科学振興西田賞受賞者について<br>第5号議案 学生旅費支援について<br>第6号議案 平成29年度事業計画書・予算書について<br>第7号議案 2020年連合大会会場について<br>第8号議案 キーノートスピーチ講演者への謝金等について | 承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>継続審議<br>承認 |

#### メール審議

| 開催月日  | 審議事項                                                   |            |
|-------|--------------------------------------------------------|------------|
| 3月18日 | 高等学校「理科」の基礎が付された全4科目必修化に関する提言<br>「地学基礎」の内容の精選と深化を求める提言 | 承認<br>継続審議 |
| 2月21日 | 「地学基礎」を主体的・対話的により深く学ぶための提言について                         | 承認         |

#### (3) 学協会長会議

- ・平成27年5月27日（月）午後1時から2時 幕張メッセ国際会議場 コンベンションホールB
- ・平成28年10月25日（火）午後3時から5時 東京大学地震研究所1号館2階セミナー室

議題は以下の通りである。

| 開催月日           | 議 事 事 項                                                                                                 |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第14回<br>5月23日  | 1. 前回議事録確認<br>2. 日本地球惑星科学連合活動報告<br>3. 法人運営基本規程第3条（団体会員の入会基準）の変更について<br>4. 日本学術会議の近況報告<br>5. 次期学協会長議長の選任 |
| 第15回<br>10月25日 | 1. 前回議事録確認<br>2. 日本地球惑星科学連合活動報告<br>3. 日本学術会議の近況報告<br>4. その他                                             |

### 3. 関連団体との連携及び協力に関する事項

#### □ 共催・協賛・後援等

| 承認日        | 種別 | 会合名等                                                                               | 開催期間                              |
|------------|----|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 4月14日      | 後援 | 第57回高圧討論会                                                                          | 2016年10月26日(水)～2016年10月29日(土)     |
| 5月23日      | 協賛 | 日本地質学会第123年学術大会(東京・桜上水大会)巡検                                                        | プレ巡検:9月9日(金)ポスト巡検:9月13日(火)～15日(木) |
| 6月30日      | 後援 | サイエンスキャッスル2016                                                                     | 2016年12月11日(日)～24日(土)             |
| 7月6日       | 後援 | 科学者は災害軽減と持続的社会の形成に役立っているか?                                                         | 2016年11月13日(日)                    |
| 7月6日       | 後援 | 持続可能な社会の実現に向けた草の根活動の振興                                                             | 2016年12月3日(日)                     |
| 7月12日      | 協賛 | 女子中高生夏の学校2016～科学・技術・人との出会い～                                                        | 2016年8月6日(土)～8日(月)                |
| 7月15日      | 後援 | 航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進                                                           | 2016年9月13日(火)～14日(水)              |
| 9月6日       | 共催 | 第11回科学地理オリンピック日本選手権および第14回国際地理オリンピック日本代表選抜大会                                       | 2016年10月1日(土)～2017年8月8日(火)        |
| 10月13日     | 後援 | 第14回国際バイオミネラルリゼーションシンポジウム(BIOMIN XIV)                                              | 2017年10月9日(月)～13日(金)              |
| 10月27日     | 協賛 | 第4回大気エアロゾルシンポジウム                                                                   | 2016年11月25日(金)                    |
| 11月3日      | 協賛 | 第4回非静力学モデルに関する国際ワークショップ                                                            | 2016年11月30日(水)～12月2日(金)           |
| 11月3日      | 協賛 | 陸水物理研究会2016年度帯広大会                                                                  | 2016年11月12日(土)～13日(日)             |
| 11月9日      | 後援 | 日本学術会議公開シンポジウム「高等学校地理総合(仮称)必修修化による地理教育への社会的期待と課題ー現場の地理歴史科教員を支援するために日本学術会議は何かできるかー」 | 2016年12月4日(日)                     |
| 11月23日     | 協賛 | 第22回計算工学講演会                                                                        | 2017年5月31日(水)～6月2日(金)             |
| 12月22日     | 後援 | 科学教育研究協議会 第64回全国研究大会・広島大会                                                          | 2017年8月7日(月)～9日(水)                |
| 12月27日     | 後援 | 2017年防災教育旅行シンポジウム                                                                  | 2017年2月23日(木)                     |
| 1月17日      | 協賛 | ジェンダーサミット10                                                                        | 2017年5月25日(木)～5月30日(火)            |
| 平成29年1月20日 | 協賛 | 2016年度量子ビームサイエンスフェスタ                                                               | 2017年3月14日(火)～15日(水)              |
| 2月14日      | 後援 | 地球科学・リモートセンシング国際シンポジウム2019                                                         | 2019年7月28日(日)～8月2日(金)             |

#### □ サポートレターの発行

| 承認日   | 件名                      | 申請者                   |
|-------|-------------------------|-----------------------|
| 5月6日  | 京大火山研究センターの支援依頼         | 京都大学生存権研究所<br>教授 津田敏隆 |
| 5月11日 | 20160518 放射性核種現状調査協力依頼書 | 茨城大学<br>教授 北和之        |



|                     |                                                      |                          |
|---------------------|------------------------------------------------------|--------------------------|
| 平成 29 年 1<br>月 11 日 | 東北大学災害科学国際研究所の共同利用・<br>共同拠点化に向けたサポートレターの発行<br>依頼について | 東北大学災害科学国際研究所<br>所長 今村文彦 |
|---------------------|------------------------------------------------------|--------------------------|

## □ プレスリリース・声明等

- ・ 5 月 23 日 熊本・大分地震災害に関する声明
- ・ 7 月 20 日 高等学校「理科」の 基礎が付された全 4 科目必修化に関する提言

#### 4. 登記、申請等に関する事項

なし

#### 5. 職員に関する事項

| 勤務形態    | 当期末<br>(平成 28 年 3 月末) | 前期末比増減 | 備考 |
|---------|-----------------------|--------|----|
| 週 5 日勤務 | 3 名                   | 0 名    |    |
| 週 4 日勤務 | 4 名                   | 1 名    |    |
| 週 2 日勤務 | 1 名                   | 0 名    |    |
| 週 1 日勤務 | 6 名                   | 0 名    |    |
| 合 計     | 14 名                  | 0 名    |    |

#### 6. その他

(1) 特定費用準備資金、国際化推進に関する事項

- ・特定費用準備資金「日本地球惑星科学連合国際化推進資金」から、旅費交通費等に使用した。

(2) 連合諸規則・規程等の制定と改正

- ・「地球惑星科学に関わる外国学協会との連携推進のための特定費用準備資金取扱規則」および「地球惑星科学振興西田賞準備資金取扱規則」の設置
- ・法人運営基本規則第 10 条(会費滞納に対する処分)の改正
- ・地学教育小委員会の解散に伴う教育検討委員会規則第 4 条の改正

(3) 社員構成に関する将来構想

- ・5 月 23 日に開催された学協会長会議にて、現行の選出代議員と団体会員から成る社員構成を選出代議員のみとすること、これに合わせて加盟学協会と理事会との連携を強化する仕組みに関して前年度に引き続き意見交換をした。
- ・9 月 30 日に開催された第 4 回理事会にて、学協会長会議での意見交換をふまえ、代議員構成の変更に係る定款等規則の改正、及び学協会長会議幹事会の設置について意見交換を行った。
- ・10 月 25 日に開催された学協会長会議にて、理事会での議論を報告し、意見交換をした。
- ・11 月 25 日に開催された第 5 回理事会において、引き続き規則の変更点について意見交換をおこなった。学協会長会議幹事会の設立準備状況について報告があった。
- ・1 月 17 日に開催された第 6 回理事会において引き続き規則の変更等について議論をした。
- ・3 月 23 日に開催された第 7 回理事会において、学協会長会議幹事会の設立準備状況について報告があった。

## Ⅱ. 会員の状況

(平成 28 年 3 月末現在)

|  | 第 1 期末 | 第 2 期末 | 第 3 期末 | 第 4 期末 | 第 5 期末 | 第 6 期末 | 増減 |
|--|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
|--|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|

### 個人会員

|                |      |      |      |      |      |      |       |
|----------------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 正会員            | 7139 | 7304 | 7540 | 7610 | 8021 | 8118 | + 97  |
| 準会員<br>(学部生以下) | 390  | 392  | 392  | 410  | 418  | 663  | + 245 |
| 大会会員           | 631  | 634  | 665  | 699  | 1061 | 703  | - 358 |

### 団体会員

|  |    |    |    |    |    |    |   |
|--|----|----|----|----|----|----|---|
|  | 48 | 49 | 50 | 50 | 50 | 50 | 0 |
|--|----|----|----|----|----|----|---|

### 賛助会員

|  |   |   |   |   |   |   |     |
|--|---|---|---|---|---|---|-----|
|  | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 6 | + 4 |
|--|---|---|---|---|---|---|-----|

# 平成 29 年度 事業計画書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階  
電話：03-6914-2080 Fax：03-6914-2088

## 平成 29 年度 事 業 計 画 書

公益社団法人第 7 期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

平成 29 年（2017 年）度は、公益社団法人日本地球惑星科学連合（以下、「連合」という。）の目的として定款に定める、「我が国の地球惑星科学コミュニティーを代表し、国際連携及び社会への情報発信、関連分野の研究発表及び情報交換を行い、学術及び科学技術の振興等に寄与することを目的とする活動」を推進する。特に、日本地球惑星科学連合大会とジャーナル出版と連合の核心的活動と位置づけ、平成 29 年度連合大会を、この分野で世界最大の AGU（アメリカ地球物理連合）と共同で幕張メッセおよび東京ベイ幕張で開催し、海外からの参加者の増加を見込む。ジャーナル出版では、新たな機能としてデータ出版を開始する。そして、ヨーロッパ地球惑星科学連合（EGU）、アジア太平洋地球科学学会（AOGS）及び AGU 等の組織との国際連携を一層強化して、地球惑星科学の更なる国際化の展開と発展を目指す。

## I. 事業の概要

### 1. 地球惑星科学に関わる研究発表会及び国際会議等の開催

#### (1) 日本地球惑星科学連合 2017 年大会 (JpGU-AGU Joint Meeting 2017) の AGU との共同開催

地球惑星科学に関する学理及びその応用に関する研究発表を通じて、地球惑星科学の進歩と普及を図ることを目的に、当該科学に関連する研究、教育に携わる、あるいは関心を持つ全ての人々を対象として、公開による学術大会を開催し、関連分野の研究発表と情報交換の場を設ける。また、地球惑星科学に関連した研究教育機関、学協会、民間企業からの最新の情報や、各種プロジェクトの成果を大会参加者に紹介するための展示を設けるとともに、学術研究及び教育に有益な、地球惑星科学関連書籍・機器・資料の展示を行う。

#### □ 日本地球惑星科学連合 2017 年大会 (JpGU-AGU Joint Meeting 2017)

会 期：2017 年 5 月 20 日(土)～25 日(木)

場 所：幕張メッセ国際会議場、国際展示場 7 ホール、東京ベイ幕張（〒261-0023 千葉県美浜区中瀬 2-1）

大会委員長：坂本 尚義（北海道大学）

主 催：公益社団法人日本地球惑星科学連合

後 援：46 団体（日本学術会議、文部科学省、国土交通省 国土地理院、気象庁 気象研究所、気象庁 地磁気観測所、国土交通省 海上保安庁、国立教育政策研究所、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 地質研究所、独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構、独立行政法人 国立科学博物館、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構、国立研究開発法人 海洋研究開発機構、国立研究開発法人 科学技術振興機構 日本科学未来館、国立研究開発法人 建築研究所、国立研究開発法人 国立環境研究所、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、国立研究開発法人 情報通信研究機構、国立研究開発法人 森林総合研究所、国立研究開発法人 土木研究所、国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門、国立研究開発法人 物質・材料研究機構、国立研究開発法人 防災科学技術研究所、国立研究開発法人 理化学研究所、大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構、大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 国立天文台、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所、大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所、一般社団法人 全国地質調査業協会連合会、一般社団法人 電子情報通信学会、一般社団法人 東京都地質調査業協会、一般社団法人 日本機械学会、一般社団法人 日本航空宇宙学会、一般社団法人 日本分析機器工業会、一般財団法人 電力中央研究所、一般財団法人 日本宇宙フォーラム、一般財団法人 日本地図センター、公益財団法人 地震予知総合研究振興会、公益財団法人 地球環境産業技術研究機構、公益財団法人 深田地質研究所、公益社団法人 日本測量協会、公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー、千葉市、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会）

協 賛：7 学協会（公益社団法人日本天文学会、公益社団法人土木学会、公益社団法人日本地震工学会、公益社団法人日本地すべり学会、公益社団法人地盤工学会、公益社団法人砂防学会、

日本高圧力学会、日本サンゴ礁学会)

開催セッション数：255

| カテゴリー別       | 開催数 |        |
|--------------|-----|--------|
| U: ユニオンセッション | 6   | (*5)   |
| O: パブリック     | 6   | (*0)   |
| P: 宇宙惑星科学    | 23  | (*17)  |
| A: 大気水圏科学    | 53  | (*33)  |
| H: 地球人間圏科学   | 37  | (*20)  |
| S: 固体地球科学    | 75  | (*49)  |
| B: 地球生命科学    | 10  | (*7)   |
| G: 教育アウトリーチ  | 4   | (*1)   |
| M: 領域外・複数領域  | 41  | (*21)  |
| 計            | 255 | (*153) |

(\*) 国際セッション数 (内数)

発表論文数：5500 件 (概算、予定)

参加者数：800 人 (見込み)

展示企画 (ブース数)：団体展示 (70)、書籍出版関連商品 (30)、大学インフォメーションパネル (12)、学協会エリア個別デスク (13)、パンフレットデスク展示 (7))

#### 「スペシャルレクチャー」の開催

学部生や院生を主たる対象として、連合大会会期中の昼食時にスペシャルレクチャーをシリーズで開催する。異分野の聴衆を対象とするわかりやすい内容の講演会を開催する。

期 日： 5 月 20 日 (土) ～5 月 25 日 (木)

場 所： 会場内

主 催： 大会運営委員会

内 容： (未定)

#### (2) 「高校生によるポスター発表」の開催

将来を担う高校生を対象に、授業や課外活動で行った地球惑星科学に関連する研究や学習の成果を研究者に対して発表するため、連合大会 2 日目 (5 月 22 日、日曜日) にポスター発表会を開催する。今年度は、前年度程度 (75 件) の発表を予定している。

#### (3) 地球惑星科学関連の一般公開プログラムの開催

一般市民を対象として、地球惑星科学に関連した研究成果の広報・普及活動を通して地球惑星科学の普及を図るために、連合大会会期中に一般公開プログラムを開催する。

また、秋季（11月予定）に一般市民（とくに高校生）を対象として、「日本地球惑星科学連合 秋の公開講演会 2017」を開催予定である。

□ 連合大会パブリックセッション（予定）

|                                |          |
|--------------------------------|----------|
| 若手研究者のためのキャリアパスセミナー            | 5月21日（日） |
| 学校教育における地球惑星科学用語               | 5月21日（日） |
| 地球・惑星科学トップセミナー                 | 5月21日（日） |
| キッチン地球科学ー手を動かすことの利点ー           | 5月20日（土） |
| 高校生によるポスター発表                   | 5月21日（日） |
| 日本のジオパークーしくじりから見えてくるジオパークの理想像ー | 5月20日（土） |

□ 中高生のための「NASAーJAXAハイパーウォール講演会」 5月21日（日）、24日（水）

□ 日本地球惑星科学連合 秋の公開講演会 2017

期 日：2017年11月（予定）

場 所：東京大学理学部小柴ホール（予定）

主 催：広報普及委員会

内 容：地球惑星科学分野の最新の研究成果を、高校生を中心に広く一般市民向けにわかりやすく紹介・解説する公開講演会。（内容は未定）

（4）地球惑星科学関連の研究教育機関・学協会・プロジェクト・民間企業の紹介および展示、地球惑星科学関連書籍・機器・資料の展示・頒布

地球惑星科学に関連した教育機関、学協会、ならびに各種プロジェクトについて、関係者のみならず、高校生を含む一般に紹介・広報することを目的に、プロジェクトを推進する諸機関、団体に対して連合大会会場にて展示活動を支援する場を設ける。

地球惑星科学に関連する書籍、資料の公刊物を多数展示し、頒布するための場を設けて、地球惑星科学関連の研究、教育に携わる人々や、高校生を含む一般の方々の利用促進をはかる。

## 2. 地球惑星科学に関わる研究成果の刊行及び教育普及

我が国の地球惑星科学及び関連科学の振興と普及を目的として、地球惑星科学に関する学理及びその応用に関する知識や情報の交換の促進を図るために、連合学術誌の出版事業とともに、連合加盟学協会の出版事業の広報普及の支援を行う。

（1）連合学術誌の出版の高度化

H26年4月に初版が発刊された JpGU のオープン・アクセス（OA）“電子ジャーナル” Progress in Earth and Planetary Science (PEPS)” のさらなる国際情報発信力強化を図る。そのために、日本学術振興会の科学研究費補助金（研究成果公開促進費）とジャーナル予算を有効に活用して、ジャーナルの認知度を高め、投稿及び引用を促進するための施策をさらに推進する予定である。具体的には、JpGU-AGU joint meeting 2017 を活用して①コンビーナ推薦の優秀発表への投稿依頼、②ジャーナル国際セッションの旅



費の支援と原稿依頼、③科学的にホットなテーマを取り上げて論文の投稿を呼びかける SPEPS の推進をより強力に進めていく。また、国内で開催される国際シンポジウムへの旅費の支援と原稿依頼、新たに H28 年度に投稿受付を開始したデータパブリッシングの本格運用の検討と引用促進に取り組む。また、ジャーナルの活性化を図るため、PEPS 表彰制度を設けて Most accessed 賞と Most cited 賞を表彰するとともに、出版された論文を紹介する仕掛けをさらに充実させる。また、H28 年度に登録申請を行った Crarivate Analisis (旧 Thomson Reuter) の IF, Elsevier の Scopus 等の評価指標への採録を念頭に、国内外の国際会議へのブース出展やパンフレットへの広告掲載などを通じ、強力な広報活動を実施する。

さらに、科学研究費補助金の交付期間最終年度として、ジャーナルの出版体制強化、及び、他誌との連携について具体的に取り組む。

#### (2) 連合加盟学協会による学術誌出版の広報普及支援

連合加盟学会による十数種の国際誌出版を数えると、全体としては AGU、EGU に匹敵していることに鑑み、国際誌を出版する学協会に連合ロゴの掲載依頼をさらに働きかけ、日本の地球惑星科学のジャーナルの「見える化」を促進する。具体的には、連合のホームページ上での紹介、海外で開催される国際学術大会で連合ブース出展、連合加盟学協会が出版する学術誌の展示等を行うなど、地球惑星科学及び関連科学の学術出版物の広報普及に関する支援を系統的に行なっていく。

#### (3) ニュースレター誌「Japan Geoscience Letters (JGL)」の発行

連合の会員（個人・団体会員）及び、科学館、博物館、高等学校教員、関連企業等の関係者や一般市民を対象として、地球惑星科学の研究成果の広報・普及を目的としてニュースレター誌「JGL」を年 4 号（予定）定期発行する。

発行部数 : 26,000～30,000 部

配布先 : 会員（個人、団体）

国立国会図書館

科学館（日本科学未来館、日本科学技術館他）

博物館（国立科学博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館他）

高等学校（東京都立戸山高等学校、千葉県立船橋高等学校、早稲田大学高等学院他）

関連企業（NPG ネイチャーアジア・パシフィック、株式会社タイロス他）

#### (4) ウェブサイト、メールニュースを活用した広報・普及事業

連合の会員及び一般市民を対象に、ウェブサイトや毎月発行のメールニュース等を通して、地球惑星科学に関連するニュース、国内外の学会・シンポジウム・研究集会・一般公開イベントや求人・公募等の情報を配信する。メールニュースの内容を一層充実させ、毎月定期号を配信するほか、ウェブサイトによる情報発信及びコンテンツの充実を図り、会員及び一般市民が地球惑星科学関連情報にアクセスしやすい環境を提供する。

### 3. 地球惑星科学コミュニティにおける意見集約とこれに基づく提言

地球惑星科学コミュニティの意見を集約するとともに、学協会や日本学術会議から提案される重要な課

題、及び国及び社会からの諸要請に対応するために、以下の活動を行う。

(1) 学協会長会議の開催

国内の地球惑星科学及び関連分野の研究者を対象に、学協会長会議を年に2回開催して、地球惑星科学コミュニティの意見集約を行うとともに、自然科学に関わる国内外の情勢についての情報交換を行う。連合理事会からの諮問、及び学協会や日本学術会議から提案される重要な課題について議論し、意見集約と対外的情報発信を行う。

□ 第16回学協会長会議

期日：2017年5月23日（火）12：30～13：30（予定）

場所：幕張メッセ国際会議場（予定）

□ 第17回学協会長会議

期日：2017年10月（予定）

場所：東京大学（東京都文京区）（予定）

(2) 地球惑星科学コミュニティの意見集約

国及び社会一般からの諸要請に基づき、地球惑星科学コミュニティの意見集約と、コミュニティへの情報伝達を行う。特に、日本学術会議が発出する声明を連合ウェブやメールニュース、関連メーリングリストを通じて地球惑星科学コミュニティへの周知をサポートする。

また、学術会議からの依頼に基づき連合大会会期中に全国地球惑星科学系専攻長・学科長懇談会を開催する。

□ 全国地球惑星科学系専攻長・学科長懇談会

期日：連合大会 会期中

場所：幕張メッセ国際会議場（予定）

#### 4. 地球惑星科学に関わる外国学協会との連携と国際プロジェクトの推進

我が国の地球惑星科学コミュニティーを代表して、地球惑星科学の国際的な発展に寄与することを目的に、地球惑星科学に関する国際的な研究協力と交流活動の推進を図る。

##### (1) 地球惑星科学に関わる国際学協会との連携及び協力

ヨーロッパの EGU、米国の AGU、ならびにアジアの AOGS 等の国際的な学協会と連携協力し、地球惑星科学に関わる国際会議等の企画、開催、国際的プロジェクトの推進等を行う。

| 開催日                     | 開催場所              | 出展大会名                     |
|-------------------------|-------------------|---------------------------|
| 2017 年 4 月 23～28 日      | ウィーン（オーストリア）      | EGU General Assembly 2017 |
| 2017 年 7 月 30 日～8 月 4 日 | 神戸                | IAG-IASPEI                |
| 2017 年 8 月 6～11 日       | シンガポール            | AOGS 14th Annual Meeting  |
| 2017 年 12 月 11～15 日     | ニューオーリンズ（アメリカ合衆国） | AGU 2017 Fall Meeting     |

##### (2) 国際科学（地学・地理）オリンピック活動支援

高校生を対象に、地球惑星科学への認識を高めるとともに地球惑星科学の学習を促進と若年層による国際交流を深めることを目的に、国際科学（地学・地理）オリンピックを連合の共催事業として行う。

###### □ 第 14 回国際地理オリンピック

期日：2017 年 8 月 2 日（水）～ 8 月 8 日（火）

場所：ベオグラード（セルビア）およびその周辺

###### □ 第 11 回国際地学オリンピック

期日：2017 年 8 月 22 日～29 日

場所：コート・ダジュール（フランス）

#### 5. 地球惑星科学知見の社会還元

地球惑星科学の研究成果を統合的な形で社会へ還元し、科学的提言を発信する。

##### (1) 複合的自然災害への対応と科学的提言の発信

地球上で起こる自然災害事象の複合化に備え、地球惑星科学の総合的、かつ蓄積された研究成果を社会へ還元することを目的として、風水害、地震、火山、津波などの自然災害などの統合的な対策にむけた科学的提言を行う。

##### (2) 複合的自然災害リテラシーの普及

複合的自然災害に対して、国民の基礎知識を高め、突発的災害によるリスクを最小化することを目指し、自然災害に関する大量の情報の中から必要なものを探し、情報を加工して意思決定するための基礎的な知識や技能（複合的自然災害リテラシー）の普及を支援するための活動を行う。

## 6. セクションサイエンスボードおよび委員会活動

広く国内外の地球惑星科学関連分野の研究者を対象に、地球惑星科学の推進と学術の推進振興を図ることを目的として、ユニオンサイエンスボード及びセクションサイエンスボード、ならびに各委員会の活動を推進する。

### (1) サイエンスボードの活動

#### □ 宇宙惑星科学セクション

宇宙惑星科学セクションでは、昨年度に引き続き、当該分野の研究の長期的なビジョンと日本の果たすべき役割について、学術会議のロードマップ、JAXA の宇宙科学 RFI（工程表）に基づく議論を進め、関連諸学会との協力により意見をまとめる。その他の活用予定は以下の通り：

- ・連合大会において、宇宙惑星科学セクションは半数が国際セッションであり、その多くが AGU との合同セッションとなった。今後もセッションの国際化は強化する方向で努力を続ける。
- ・連合大会において、昨年引き続き、学生優秀発表を選考して表彰する。PEPS 誌、及びこれまで深く関与してきた EPS 誌を支援する。連合の顕彰、主催講演会などに候補者を推薦する。
- ・セクションの活動のために、連合大会期間中にセクションボード会議を行うほか、関連学会の秋季講演会などの機会を利用してセクションボード会議を頻繁に開催する。

#### □ 大気水圏科学セクション

- ・JpGU-AGU Joint Meeting 時にセクションボードメンバー及び代議員を招集しセクションボードミーティングを開催する。
- ・JpGU-AGU Joint Meeting に海外の研究者を招聘し、また大気水圏科学関連セッションへの積極的な参加を会員に呼びかけ、大会の成功につなげる。
- ・大気水圏科学分野に関係する研究集会にセクションとして共催または協賛し開催を援助する。
- ・ホームページの作成などのアウトリーチ活動を行う。

#### □ 地球人間圏科学セクション

- ・セクションの活動の活性化にむけセクションボードに新たなメンバーを迎えることを検討する。
- ・2017 年連合大会においてセクションボードミーティングを開催する
- ・2017 年連合大会において学生優秀発表賞の選考と表彰活動を行う。
- ・2018 年開催の連合大会にむけセッション計画をたて提案の呼びかけを行う。国際セッションの提案を充実させるよう努力する。
- ・地球人間圏科学セクションに関わる若手研究者の活動支援にむけた議論を行う。
- ・地球環境問題、大規模災害、フューチャー・アースに対応して、日本学術会議地球惑星科学委員会活動との連携(シンポジウム、ロードマップ、大型研究計画など)をはかる。
- ・ジオユニオン活動（IGU 大会、ICA 大会など）との連携を進める。

#### □ 固体地球科学セクション

- ・固体地球科学セクションボードミーティングを開催する。

- ・ 複数のセクションのフォーカスグループのミーティングを開催する。
- ・ フォーカスグループが主催し、また固体地球科学セクションが後援する国内でのワークショップにおいて、海外から招聘研究者1名を支援する。
- ・ 固体地球科学セクションが後援（予定）の国際会議への代表派遣旅費1名分を計上する。
- ・ 本年度においては、セクションボードのメンバーを拡充し、セクションの活動を新たなメンバーとともに活性化する。
- ・ セクションの内部構造を構築するために、新たなフォーカスグループを創設する。このフォーカスグループが継続的に連合大会で国際セッションを提案し、さらに海外の組織と連携した国際会議を共催することを支援する。このような支援を通して、2017年以降の連合大会において国際セッションの継続的な提案を可能にする。
- ・ 英語版を含めてホームページをさらに充実させる。そのための予算措置を検討する。
- ・ セクションの褒賞制度を充実させるために、連合の顕彰委員会と緊密に連携して新たな褒賞の可能性を検討する。

#### □ 地球生命科学セクション

- ・ 連合大会において地球生命科学関連セッション（国際セッション含む）を開催する。
- ・ 連合大会期間中にサイエンスボードのビジネスミーティングを行う。
- ・ 連合大会の地球生命科学関連セッションで学生優秀発表賞の審査を行う。
- ・ 地球生命科学振興の中長期計画の策定を行う。
- ・ 地球生命科学セクションの若手メンバーの国際的活動の支援を行う。
- ・ PEPS への優れた地球生命科学関連の論文投稿を促進する。

#### （2）顕彰関連活動

- ・ 連合大会における「学生優秀発表」の表彰を行う。連合大会における学生優秀発表賞の表彰をセクション単位で実施する。学生優秀発表賞のシステムの充実を図り、審査用WEBシステムを利用して、学生優秀発表表彰制度の安定的な運営をめざす。
- ・ 連合フェロー顕彰：2017年度フェローを顕彰する。2018年度フェロー候補者を募集し審査する。
- ・ 地球惑星科学振興西田賞：2017年連合大会において第2回地球惑星科学振興西田賞受賞候補者の表彰を行う。
- ・ 学生旅費補助制度：昨年に引き続き、大会参加のための学生旅費補助の審査を行う。

#### （3）各委員会活動

各委員会では年間を通じて委員会を随時開催するとともに、担当理事を通じて理事会への活動報告を行い、委員会と理事会の意志疎通をはかる。特に今年度は以下の委員会活動を推進する。

#### □ 総務委員会

公益社団法人の円滑な運営と体制強化のための、諸規則の整備を図る。特に連合事務局の就業規則や給与関連規則等の整備を進める。次期代議員・役員選挙の準備を進める。

□ 財務委員会

- ・2016 年度、2017 年度および今後のアメリカ地球物理連合との国際協力が、財務面において日本地球惑星科学連合の運営に対して与える影響について検討する。
- ・前年度の調査に基づき、中長期的に安定的に日本地球惑星科学連合を運営する上での財務面の課題と対策を検討する。

□ 大会運営委員会

連合大会の参加者増を目指し、満足度の高いプログラムや企画の充実にむけた方策を企画検討する。

JpGU-AGU Joint Meeting 2017 の準備作業を引き続き行い、運営を担当する。2018 年大会の準備を進める。

□ 情報システム委員会

ORCID について会員に情報を提供しつつ、連合で有効活用するための検討と作業を継続する。2017 年の JpGU-AGU Joint Meeting に向けて改修されたオンラインシステムを活用し、次年度以降に向けてさらなる改良作業を行う。オープンサイエンスを促進するための活動を継続する。

□ グローバル戦略委員会

- ・JpGU-AGU Joint Meeting において AGU との連携の活性化を図る。
- ・同大会で International Mixer Luncheon を開催する。昨年大会に引き続き連携海外組織とミーティングを開催し連携力強化を図る。
- ・2018 年連合大会の開催準備を行う。
- ・EGU・IAG-IASPEI・AOGS・AGU 等の連携海外組織の大会にブース出展をし、連合、ジャーナル、加盟学協会の活動紹介をする。
- ・発信力強化のため、連合ホームページにおける英語ページの充実をはかる。またパブリックアナウンスメントがある場合、翻訳し掲載する。

□ 教育検討委員会

(1) 地球惑星科学関連の一般公開プログラムの開催

一般市民を対象として、地球惑星科学に関連した研究成果の広報・普及活動を通して地球惑星科学の普及を図るために、連合大会会期中に一般公開プログラムを開催する。

また、秋季（11 月予定）に「秋の公開講演会」を開催予定である。

□ 学校教育における地球惑星科学用語

期 日：5 月 21 日（日）

主 催：教育検討委員会

内 容：

地球惑星科学に関する教育内容は、日本の後期中等教育機関（高等学校等）での教育では主に科目「地学基礎」・「地学」・「地理 A」・「地理 B」、および「科学と人間生活」の一部で扱われているが、教科間・科目間、また同一の教科内・科目内でも教科書間で用語や解説内容などが異なっている場合がある。加えて、

地球惑星科学の成果が適切に反映されていない内容も散見される。この一般公開プログラム（JpGU2017年大会パブリックセッション）では、学校教科書で使用されている用語の検討を中心に、日本における地球惑星科学と学校教育との関係の報告を受け、聴衆を交えての議論を行う。

## （２）学校教育／社会教育に関する活動

- ・次期高等学校学習指導要領改訂に向けて中央教育審議会での作業進行に関連し、それに対する教育課程小委員会からの「地学基礎」カリキュラム案を添付した提言を文部科学省へ提出し意見交換を行う。また、教員養成等小委員会からの教員の研修や養成のあり方について意見や提言が出せるように準備を引き続き進める。
- ・教科書にて用いられている用語に起因する課題の解決に向けた取り組みを、日本学術会議 地球惑星科学委員会 地球惑星科学人材育成分科会 地学地理教育用語検討小委員会と引き続き協同して行う。その他にも、日本学術会議と連携し、小～高等学校・大学・大学院教育に関わる課題解決等に向け、平成28年度までと同様に継続して協力を行う。
- ・Future Earth や ESD（Education for Sustainable Development）において地球惑星科学がリーダーシップを取れるような体制作りへの協力を引き続き行う。
- ・地球惑星科学教育が十分に行われていない地域の学校・教員への支援を実習帳等を用い行う。
- ・東京大学地震研究所共同利用研究集会「地震・火山現象を含む学校地学教育の現状とそのイノベーション」開催への協力を行う。
- ・教員免許状更新講習の実施を円滑に進める。
- ・理数系学会教育問題連絡会へ引き続き参加し、学校での理数・情報教育の改善に向けた対応に引き続き努める。また、共催での理数系教育シンポジウムの開催を企画し実施する。
- ・「女子中高生夏の学校」の実験実習及び展示を行い、地学教育の普及を行う。

## （３）国際科学（地学・地理）オリンピック活動支援

高校生を対象に、地球惑星科学への認識を高めるとともに地球惑星科学の学習を促進と若年層による国際交流を深めることを目的に、国際科学（地学・地理）オリンピックを連合の共催事業として行う。

### □ 第14回国際地理オリンピック

期 日：2017年8月2日（水）～8月8日（火）

場 所：ベオグラード（セルビア）およびその周辺

（国内選抜（国内大会）は、2017年1月7日（土） 第1次選抜（マルチメディアテスト）、2017年2月19日（日） 第2次選抜（記述式テスト）、2017年3月11日（土）・12日（日）第3次選抜（フィールドワークテスト）にて実施済。）

### □ 第11回国際地学オリンピック

期 日：2017年8月22日～29日

場 所：コート・ダジュール（フランス）

（国内選抜は、2016年12月18日（予選）、2017年3月12日～14日（本選）、2017年3月14日～15日（代表選抜）にて実施済。）

#### (4) 国際的な地球惑星科学教育の普及と交流

- ・ AGI と合同で普及教育活動を企画・実施する。
- ・ A 教育カリキュラムの比較検討及び日本のカリキュラムの情報発信を行う。
- ・ 教員免許更新講習を開催する（7 月から 8 月に、4 講座を予定）

#### □ 広報普及委員会

- ・ 2017 年連合大会で、パブリックセッション「高校生によるポスター発表」を開催予定
- ・ 2017 年連合大会で、パブリックセッション「地球・惑星科学トップセミナー」を開催予定、映像を記録して動画配信予定
- ・ 2017 年連合大会で、中高生向けに「NASA-JAXA ハイパーウォール講演会」を開催し、その宣伝及び運営サポートを行う予定
- ・ 2017 年連合大会で、基調講演会を同時通訳付きで高校生を含む一般市民に公開・広報予定
- ・ 2017 年連合大会で、基調講演会及びいくつかのユニオンセッション及びサイエンスセッションの映像を記録して動画配信予定
- ・ 2017 年連合大会で、会場の様子を、スチルカメラマンを雇用して記録・公開予定
- ・ 2017 年連合大会で、記者会見用ブース及びメディア用作業スペースを作成・設置予定
- ・ 2017 年連合大会で、日本地球惑星科学連合の展示ブースを開設予定
- ・ 2017 年連合大会で発表される論文の中からハイライト論文をセレクトしてメディアに周知予定
- ・ 2017 年連合大会の概要及びハイライト論文などのプレスリリースを行う予定
- ・ 2017 年 11 月頃に「日本地球惑星科学連合秋の公開講演会 2017」を開催予定、その映像を記録して動画配信予定
- ・ 連合ニュースレター誌 JGL を年間 4 号発行予定
- ・ 2017 年連合大会プログラム日本語版を JGL 春号の一部として掲載・発行予定
- ・ 2017 年度連合フェロー受賞者記念特集原稿の編集し、JGL 及び連合ウェブに掲載予定
- ・ 連合メールニュース定期号を年間 12 号、臨時号を年間約 10 号程度配信予定
- ・ 連合ウェブサイトのデザイン及びコンテンツを全面リニューアル予定
- ・ 連合ウェブサイトを活用した広報・普及事業（公開講演会等の動画配信を含む）を行う予定
- ・ 連合ウェブサイト英語版を拡充予定
- ・ 2017 年 7 月ころに広報普及委員会を開催予定

#### □ ジャーナル企画経営委員会

- ・ ジャーナルの中長期経営戦略（企画、財政、方針など）及び他誌との協調・発展について、随時委員会を開催して検討する。また、科研費補助金交付年度の最終年度にあたり、補助金の継続申請についても検討する。

#### □ ジャーナル編集委員会

- ・ 編集長会議と全体編集会議を開催し、論文投稿及び引用を促進するための施策、編集方針や問題点の解決策について検討する。



□ ダイバーシティ推進委員会

- ・キャリアパスアンケートの実施（1月～5月）、結果速報の配布（連合大会時）
- ・2017年連合大会でのパブリックセッションの開催
- ・2017年連合大会でのキャリアパス支援ブースの運営
- ・2017年連合大会での保育室の運営
- ・Gender Summit 10への参加、ポスター発表による JpGU の宣伝など（5月25～26日）
- ・キャリアパスアンケート解析、ウェブ等での結果報告（通年）
- ・男女共同参画学協会連絡会対応 若手研究者育成 WG 活動（通年）
- ・女子中高生夏の学校への参加（8月5～7日、企画委員としても参画し、実験実習、ポスター展示、進路相談、国際交流などの多様な企画を協賛予定）
- ・キャリア関係シンポジウムの開催（10月～12月 予定）
- ・委員会ウェブサイトの整備（通年）
- ・ダイバーシティ推進委員会の開催（1-2月予定）

□ 環境災害対応委員会

環境・災害問題に関する重要課題を調査し、大規模災害発生時の連合の緊急対応方策及び各学協会の連携方法を確立すると共に、連合大会においてセッションを開催する。防災学術連携体の対応を行う。

□ 顕彰委員会、学生優秀発表賞小委員会

- ・日本地球惑星科学連合の顕彰活動に関連する事案を検討し、顕彰制度の規則などの設計ならびに運営に関する議論を行い、理事会へ答申する。
- ・顕彰事業の一環として、連合大会における学生旅費補助審査を行う。
- ・顕彰委員会内に設けた学生優秀発表賞小委員会により、連合大会における学生優秀発表賞制度を運営する。

□ フェロー審査委員会

連合大会でのフェロー表彰に向けて、フェローを選考し、理事会に推薦する。

□ 地球惑星科学振興西田賞審査委員会

本章の審査を隔年で行う。平成29年度は当該年度であるので受賞候補者の募集および審査に基づき第2回受賞者の表彰を連合大会にて開催するための準備を行う。

平成29年度 収支予算書

公益目的事業会計

| 科 目                   | 平成29年度<br>予算額 | 平成28年度<br>予算額 | 増 減         |
|-----------------------|---------------|---------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部          |               |               |             |
| 1. 経常増減の部             |               |               |             |
| (1) 経常収益              |               |               |             |
| 基 本 財 産 運 用 益         | 1,600         | 1,600         | 0           |
| 基 本 財 産 受 取 利 息       | 1,600         | 1,600         | 0           |
| 特 定 資 産 運 用 益         | 2,000         | 2,000         | 0           |
| 特 定 資 産 受 取 利 息       | 2,000         | 2,000         | 0           |
| 受 取 会 費               | 12,100,000    | 12,200,000    | -100,000    |
| 当 年 度 会 費             | 12,100,000    | 12,200,000    | -100,000    |
| 事 業 収 益               | 167,821,002   | 135,450,192   | 32,370,810  |
| 学 術 大 会 事 業 収 益       | 167,321,002   | 134,942,692   | 32,378,310  |
| 大 会 参 加 料 収 入         | 115,941,792   | 92,900,000    | 23,041,792  |
| 投 稿 料 収 入             | 21,629,160    | 16,731,260    | 4,897,900   |
| 団 体 展 示 料 収 入         | 23,976,000    | 19,473,000    | 4,503,000   |
| 大学インフォメーションパネル収       | 907,200       | 760,000       | 147,200     |
| 書 籍 展 示 料 収 入         | 1,620,000     | 1,300,000     | 320,000     |
| パンフレットデスク収入           | 75,600        | 21,000        | 54,600      |
| 会 議 室 使 用 料 収 入       | 2,000,000     | 2,097,090     | -97,090     |
| 懇 親 会 収 入             | 450,000       | 546,394       | -96,394     |
| 学 協 会 出 展 料           | 421,250       | 360,000       | 61,250      |
| 日 本 ジ オ パ ー ク         | 0             | 54,000        | -54,000     |
| そ の 他                 | 300,000       | 699,948       | -399,948    |
| 刊 行 事 業 収 益           | 500,000       | 507,500       | -7,500      |
| G L 広 告 料 収 入         | 500,000       | 507,500       | -7,500      |
| 指 定 正 味 財 産 益         | 838,260       | 838,260       | 0           |
| 雑 収                   | 30,000        | 10,000        | 20,000      |
| 受 取 利 息               | 20,000        | 10,000        | 10,000      |
| そ の 他                 | 10,000        | 0             | 10,000      |
| 受 取 補 助 金 等           | 56,100,000    | 37,300,000    | 18,800,000  |
| 千葉県国際会議開催補助金          | 7,000,000     |               | 7,000,000   |
| 千葉市国際会議開催補助金          | 5,000,000     | 0             | 5,000,000   |
| 千葉コンベンションビュロー補助金      | 2,000,000     | 0             | 2,000,000   |
| 28年度科学研究費補助金研究成果公開促進費 |               | 37,300,000    | -37,300,000 |
| 29年度科学研究費補助金研究成果公開促進費 | 42,100,000    |               | 42,100,000  |
| 寄付金 地球惑星科学振興西田賞       |               | 5,000,000     | -5,000,000  |
| 会員寄附金                 |               | 0             | 0           |
| 経常収益計                 | 236,892,862   | 190,802,052   | 46,090,810  |
| (2) 経常費用              |               |               |             |
| 事 業 費                 | 252,469,306   | 181,412,621   | 71,056,685  |
| 給 料 手 当               | 30,190,000    | 26,330,000    | 3,860,000   |
| 法 定 福 利 費             | 4,670,000     | 2,200,000     | 2,470,000   |
| 臨 時 雇 賃 金             | 6,047,000     | 6,092,000     | -45,000     |
| ホ ー ム ペ ー ジ 作 成 費     |               | 100,000       | -100,000    |
| そ の 他 ア ル バ イ ト       | 6,047,000     | 5,992,000     | 55,000      |
| 会 議 費                 | 10,043,200    | 6,434,000     | 3,609,200   |
| 旅 費 交 通 費             | 34,998,000    | 21,931,500    | 13,066,500  |
| 通 信 運 搬 費             | 1,910,000     | 1,200,000     | 710,000     |
| 交 通 費                 | 33,088,000    | 20,731,500    | 12,356,500  |
| 通 信 運 搬 費             | 3,856,000     | 3,188,400     | 667,600     |
| 減 価 償 却 費             | 5,508,000     | 3,906,820     | 1,601,180   |
| 消 耗 什 器 備 品           | 300,000       | 300,000       | 0           |
| 消 耗 品 費               | 4,820,600     | 5,058,600     | -238,000    |
| 印 刷 製 本 費             | 17,601,000    | 17,371,620    | 229,380     |
| プ ロ グ ラ ム 編 集 費       | 500,000       | 500,000       | 0           |
| プ ロ グ ラ ム 印 刷 製 本 費   | 2,200,000     | 2,790,000     | -590,000    |
| ポ ス タ ー 製 作 費         | 100,000       | 120,000       | -20,000     |
| J G L 印 刷 費           | 4,916,000     | 4,029,120     | 886,880     |
| ジャーナル印刷費              | 8,000,000     | 8,000,000     | 0           |
| そ の 他                 | 1,885,000     | 1,932,500     | -47,500     |
| 図 書 費                 | 100,000       | 40,000        | 60,000      |
| 出 展 費                 | 200,000       | 480,000       | -280,000    |
| 賃 借 料                 | 70,699,705    | 41,655,001    | 29,044,704  |
| 事 務 所 賃 借 料           | 3,656,465     | 2,646,465     | 1,010,000   |
| 事 務 機 賃 借 料           | 328,536       | 328,536       | 0           |
| 会 場 賃 借 料             | 45,999,380    | 25,030,000    | 20,969,380  |
| 設 備 機 材 賃 借 料         | 20,315,324    | 12,800,000    | 7,515,324   |
| そ の 他                 | 400,000       | 850,000       | -450,000    |
| 設 営 費                 | 4,453,574     | 5,200,000     | -746,426    |
| 諸 謝 金                 | 1,484,000     | 3,300,000     | -1,816,000  |
| 租 税 公 課               | 3,330,000     | 3,050,000     | 280,000     |
| 支 払 手 数 料             | 4,320,000     | 3,635,000     | 685,000     |
| 支 払 賃 助 金             | 1,028,000     | 1,205,000     | -177,000    |
| 委 託 費                 | 36,070,427    | 15,036,680    | 21,033,747  |
| シ ス テ ム 関 連 費         | 5,047,200     | 4,220,000     | 827,200     |
| そ の 他                 | 31,023,227    | 10,816,680    | 20,206,547  |
| 保 守 費                 | 4,200,000     | 4,200,000     | 0           |
| 表 彰 費                 |               | 5,000,000     | -5,000,000  |
| 維 持 費                 | 665,000       | 145,000       | 520,000     |
| 保 険 費                 | 84,800        | 53,000        | 31,800      |
| 広 告 宣 伝 費             | 7,800,000     | 5,600,000     | 2,200,000   |
| 管 理 費                 | 11,709,502    | 11,693,502    | 16,000      |
| 給 料 手 当               | 5,700,000     | 6,570,000     | -870,000    |
| 法 定 福 利 費             | 30,000        | 200,000       | -170,000    |
| 会 議 費                 |               | 0             | 0           |
| 旅 費 交 通 費             | 1,606,000     | 1,650,000     | -44,000     |
| 通 信 運 搬 費             | 306,000       | 450,000       | -144,000    |
| 交 通 費                 | 1,300,000     | 1,200,000     | 100,000     |
| 通 信 運 搬 費             | 150,000       | 150,000       | 0           |
| 消 耗 什 器 備 品 費         | 100,000       | 100,000       | 0           |
| 消 耗 品 費               | 224,400       | 224,400       | 0           |
| 修 繕 費                 |               | 12,000        | -12,000     |
| 賃 借 料                 | 879,102       | 879,102       | 0           |
| 事 務 所 賃 借 料           | 736,438       | 736,438       | 0           |
| 事 務 機 賃 借 料           | 92,664        | 92,664        | 0           |
| そ の 他                 | 50,000        | 50,000        | 0           |
| 諸 謝 金                 | 1,288,000     | 1,188,000     | 100,000     |
| 租 税 公 課               | 260,000       | 260,000       | 0           |
| 保 守 費                 | 1,012,000     | 0             | 1,012,000   |
| 支 払 手 数 料             | 360,000       | 360,000       | 0           |
| 雑 費                   | 100,000       | 100,000       | 0           |
| 経常費用計                 | 264,178,808   | 193,106,123   | 71,072,685  |
| 評価損益等調整前当期経常増減額       | -27,285,946   | -2,304,071    | -24,981,875 |
| 損益評価等計                |               |               |             |
| 当期経常増減額               |               |               |             |
| 2. 経常外増減の部            |               |               |             |
| 一般正味財産期首残高            | 80,326,919    | 82,630,990    |             |
| 一般正味財産期末残高            | 53,040,973    | 80,326,919    |             |
| II 指定正味財産増減の部         |               |               |             |
| 受取補助金                 | 56,100,000    | 37,300,000    |             |
| 受取寄付金(西田賞)            | 5,000,000     | 5,000,000     |             |
| 特定資産運用益               |               |               |             |
| 一般正味財産への振替額           | -56,938,260   | -43,138,260   |             |
| 当期指定正味財産増減額           | 4,161,740     |               |             |
| 指定正味財産期首残高            | 5,628,696     | 6,466,956     |             |
| 指定正味財産期末残高            | 9,790,436     | 5,628,696     |             |
| III 正味財産期末残高          | 62,831,409    | 85,955,615    |             |

# 貸借対照表

平成29年 3月31日現在

公益目的事業会計

(単位:円)

| 科 目                   |    |  |  |  | 当年度         | 前年度         | 増 減        |
|-----------------------|----|--|--|--|-------------|-------------|------------|
| I 資産の部                |    |  |  |  |             |             |            |
| 1. 流動資産               |    |  |  |  |             |             |            |
| 現金                    | 預金 |  |  |  | 107,125,595 | 91,437,441  | 15,688,154 |
| 未成事業収支                | 出金 |  |  |  | 15,000      | 0           | 15,000     |
| 前払費用                  | 税金 |  |  |  | 18,653,103  | 13,130,694  | 5,522,409  |
|                       |    |  |  |  | 3,312,918   | 3,064,693   | 248,225    |
|                       |    |  |  |  | 282,742     | 282,742     | 0          |
|                       |    |  |  |  | 325,980     | 0           | 325,980    |
| 流動資産合計                |    |  |  |  | 129,715,338 | 107,915,570 | 21,799,768 |
| 2. 固定資産               |    |  |  |  |             |             |            |
| (1) 基本財産              |    |  |  |  |             |             |            |
| 定期預金                  |    |  |  |  | 5,000,000   | 5,000,000   | 0          |
| 基本財産合計                |    |  |  |  | 5,000,000   | 5,000,000   | 0          |
| (2) 特定資産              |    |  |  |  |             |             |            |
| 国際化推進準備資金             |    |  |  |  | 0           | 2,300,000   | -2,300,000 |
| 地球惑星科学に関わる外国学協会との連携資金 |    |  |  |  | 4,000,000   | 0           | 4,000,000  |
| 地球惑星科学振興西田賞準備資金       |    |  |  |  | 5,000,000   | 0           | 5,000,000  |
| 特定資産合計                |    |  |  |  | 9,000,000   | 2,300,000   | 6,700,000  |
| (3) その他固定資産           |    |  |  |  |             |             |            |
| 什器備品                  |    |  |  |  | 273,709     | 163,133     | 110,576    |
| ソフトウェア                |    |  |  |  | 15,562,036  | 13,260,896  | 2,301,140  |
| 保証金                   |    |  |  |  | 661,650     | 661,650     | 0          |
| その他固定資産合計             |    |  |  |  | 16,497,395  | 14,085,679  | 2,411,716  |
| 固定資産合計                |    |  |  |  | 30,497,395  | 21,385,679  | 9,111,716  |
| 資産合計                  |    |  |  |  | 160,212,733 | 129,301,249 | 30,911,484 |
| II 負債の部               |    |  |  |  |             |             |            |
| 1. 流動負債               |    |  |  |  |             |             |            |
| 未払費用                  |    |  |  |  | 9,978,342   | 1,954,228   | 8,024,114  |
| 未成事業収支                |    |  |  |  | 2,941,294   | 3,104,513   | -163,219   |
| 前受金                   |    |  |  |  | 45,476,220  | 33,243,824  | 12,232,396 |
| 預り金                   |    |  |  |  | 6,027,000   | 5,306,000   | 721,000    |
| 仮受金                   |    |  |  |  | 383,629     | 210,475     | 173,154    |
| 未払消費税                 |    |  |  |  | 2,809,896   | 2,582,040   | 227,856    |
|                       |    |  |  |  | 2,788,700   | 1,744,200   | 1,044,500  |
| 流動負債合計                |    |  |  |  | 70,405,081  | 48,145,280  | 22,259,801 |
| 負債合計                  |    |  |  |  | 70,405,081  | 48,145,280  | 22,259,801 |
| III 正味財産の部            |    |  |  |  |             |             |            |
| 1. 指定正味財産             |    |  |  |  |             |             |            |
| 指定正味財産合計              |    |  |  |  | 6,466,956   | 7,305,216   | -838,260   |
| 2. 一般正味財産             |    |  |  |  |             |             |            |
| (うち基本財産への充当額)         |    |  |  |  | 83,340,696  | 73,850,753  | 9,489,943  |
| 正味財産合計                |    |  |  |  | 5,000,000   | 5,000,000   | 0          |
| 負債及び正味財産合計            |    |  |  |  | 89,807,652  | 81,155,969  | 8,651,683  |
|                       |    |  |  |  | 160,212,733 | 129,301,249 | 30,911,484 |

# 正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

公益目的事業会計

(単位:円)

| 科 目                   | 当年度         | 前年度         | 増 減         |
|-----------------------|-------------|-------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部          |             |             |             |
| 1. 経常増減の部             |             |             |             |
| (1) 経常収益              |             |             |             |
| 基本財産運用益               | 1,253       | 1,250       | 3           |
| 特定資産運用益               | 1,253       | 1,250       | 3           |
| 受取利息                  | 255         | 3,500       | -3,245      |
| 受取利費                  | 255         | 3,500       | -3,245      |
| 事業年度収会費               | 11,419,000  | 13,160,000  | -1,741,000  |
| 事業年度収益                | 11,419,000  | 13,160,000  | -1,741,000  |
| 事業年度収益                | 142,565,783 | 103,923,270 | 38,642,513  |
| 大会事業収入                | 141,635,783 | 103,415,770 | 38,220,013  |
| 大会稿参加料収入              | 96,754,040  | 65,316,000  | 31,438,040  |
| 大会展メーショナル収入           | 17,119,480  | 14,354,000  | 2,765,480   |
| 大学インフォメーションパナル収入      | 22,571,780  | 18,300,000  | 4,271,780   |
| 大学書籍フレッショデスク収入        | 790,560     | 770,000     | 20,560      |
| パネル会議親会出展料            | 1,350,000   | 1,160,000   | 190,000     |
| 会談室使用料                | 54,000      | 70,000      | -16,000     |
| 懇親会オのバ                | 1,923,345   | 1,941,750   | -18,405     |
| 学日その                  | 409,818     | 505,920     | -96,102     |
| 刊行JGL事業料収入            | 432,000     | 300,000     | 132,000     |
| メーニユース広告料収入           | 0           | 50,000      | -50,000     |
| 受取補助金等                | 230,760     | 648,100     | -417,340    |
| 25年度科学研究費補助金研究成果公開促進費 | 930,000     | 507,500     | 422,500     |
| 千葉国際コンベンションビューロー助成金   | 690,000     | 507,500     | 182,500     |
| 27年度科学研究費補助金研究成果公開促進費 | 240,000     | 0           | 240,000     |
| 28年度科学研究費補助金研究成果公開促進費 | 35,642,802  | 35,238,260  | 404,542     |
| 受取寄付金                 | 838,260     | 0           | 838,260     |
| 地球惑星科学振興西田賞           | 0           | 600,000     | -600,000    |
| 会員収寄                  | 0           | 34,638,260  | -34,638,260 |
| 雑受その                  | 34,804,542  | 0           | 34,804,542  |
| 経常収益計                 | 7,125,000   | 747,000     | 6,378,000   |
| 経常費用                  | 5,000,000   | 0           | 5,000,000   |
| (2) 経常費用              | 2,125,000   | 747,000     | 1,378,000   |
| 給法臨ホ一ムベアルジ作成費         | 45,710      | 108,399     | -62,689     |
| 会旅通交                  | 2,079       | 15,368      | -13,289     |
| 通減消保印                 | 43,631      | 93,031      | -49,400     |
| ブロボジそ                 | 196,799,803 | 153,181,679 | 43,618,124  |
| 図出賃                   | 177,166,362 | 141,183,723 | 35,982,639  |
| 事務場機                  | 30,354,425  | 23,831,930  | 6,522,495   |
| 設備                    | 2,094,211   | 2,529,734   | -435,523    |
| 設諸租支支委シそ              | 4,485,948   | 4,833,551   | -347,603    |
| 雑保広表                  | 320,000     | 400,000     | -80,000     |
| 管給会旅通交                | 4,165,948   | 4,433,551   | -267,603    |
| 消耗什耗                  | 5,596,716   | 3,579,585   | 2,017,131   |
| 信価什耗                  | 19,538,305  | 14,413,146  | 5,125,159   |
| 運賃器備品                 | 1,799,385   | 1,451,897   | 347,488     |
| 搬却品                   | 17,738,920  | 12,961,249  | 4,777,671   |
| 費費費費費                 | 3,339,270   | 2,477,352   | 861,918     |
| 費費費費費                 | 5,537,741   | 3,602,158   | 1,935,583   |
| 費費費費費                 | 0           | 170,046     | -170,046    |
| 費費費費費                 | 6,370,536   | 3,904,349   | 2,466,187   |
| 費費費費費                 | 3,905,100   | 1,693,440   | 2,211,660   |
| 費費費費費                 | 11,464,836  | 12,362,422  | -897,586    |
| 費費費費費                 | 475,200     | 637,200     | -162,000    |
| 費費費費費                 | 2,153,952   | 2,160,108   | -6,156      |
| 費費費費費                 | 0           | 97,530      | -97,530     |
| 費費費費費                 | 4,293,129   | 4,294,080   | -951        |
| 費費費費費                 | 3,637,228   | 4,573,617   | -936,389    |
| 費費費費費                 | 905,327     | 599,887     | 305,440     |
| 費費費費費                 | 1,512       | 0           | 1,512       |
| 費費費費費                 | 247,408     | 666,342     | -418,934    |
| 費費費費費                 | 42,251,234  | 30,990,378  | 11,260,856  |
| 費費費費費                 | 2,068,794   | 3,629,628   | -1,560,834  |
| 費費費費費                 | 340,470     | 220,684     | 119,786     |
| 費費費費費                 | 23,487,730  | 19,995,638  | 3,492,092   |
| 費費費費費                 | 16,354,240  | 7,030,878   | 9,323,362   |
| 費費費費費                 | 0           | 113,550     | -113,550    |
| 費費費費費                 | 3,137,019   | 3,352,541   | -215,522    |
| 費費費費費                 | 3,159,112   | 1,474,448   | 1,684,664   |
| 費費費費費                 | 4,082,784   | 2,792,600   | 1,290,184   |
| 費費費費費                 | 4,949,934   | 4,129,196   | 820,738     |
| 費費費費費                 | 867,000     | 3,360,000   | -2,493,000  |
| 費費費費費                 | 13,177,477  | 15,727,136  | -2,549,659  |
| 費費費費費                 | 210,000     | 10,308,600  | -10,098,600 |
| 費費費費費                 | 12,967,477  | 5,418,536   | 7,548,941   |
| 費費費費費                 | 120,668     | 322,558     | -201,890    |
| 費費費費費                 | 34,300      | 29,780      | 4,520       |
| 費費費費費                 | 7,450,826   | 4,941,031   | 2,509,795   |
| 費費費費費                 | 5,000,000   | 0           | 5,000,000   |
| 費費費費費                 | 10,143,498  | 8,499,201   | 1,644,297   |
| 費費費費費                 | 5,083,144   | 3,515,315   | 1,567,829   |
| 費費費費費                 | 0           | 3,720       | -3,720      |
| 費費費費費                 | 1,588,482   | 1,823,454   | -234,972    |
| 費費費費費                 | 255,688     | 225,961     | 29,727      |
| 費費費費費                 | 1,332,794   | 1,597,493   | -264,699    |
| 費費費費費                 | 139,391     | 124,530     | 14,861      |
| 費費費費費                 | 0           | 14,687      | -14,687     |

|                 |             |             |            |
|-----------------|-------------|-------------|------------|
| 消費材料費           | 290,663     | 170,186     | 120,477    |
| 修繕費             | 0           | 158,220     | -158,220   |
| 事務所賃借料          | 1,148,886   | 765,546     | 383,340    |
| 事務機具の償却         | 1,017,876   | 678,576     | 339,300    |
| その他             | 126,360     | 86,970      | 39,390     |
| 諸租税             | 4,650       | 0           | 4,650      |
| 支払手数料           | 1,188,000   | 1,155,600   | 32,400     |
| 雑費              | 172,616     | 106,300     | 66,316     |
| 経常費用計           | 469,155     | 561,984     | -92,829    |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 63,161      | 99,659      | -36,498    |
| 損益評価等計          | 187,309,860 | 149,682,924 | 37,626,936 |
| 当期経常増減額         | 9,489,943   | 3,498,755   | 5,991,188  |
| 2. 経常外増減の部      | 0           | 0           | 0          |
| (1) 経常外収益       | 0           | 0           | 0          |
| 経常外収益計          | 0           | 0           | 0          |
| (2) 経常外費用       | 0           | 0           | 0          |
| 経常外費用計          | 0           | 0           | 0          |
| 当期経常外増減額        | 0           | 0           | 0          |
| 当期一般正味財産増減額     | 9,489,943   | 3,498,755   | 5,991,188  |
| 一般正味財産期首残高      | 73,850,753  | 70,351,998  | 3,498,755  |
| 一般正味財産期末残高      | 83,340,696  | 73,850,753  | 9,489,943  |
| II 指定正味財産増減の部   | 34,804,542  | 33,800,000  | 1,004,542  |
| 受取補助金等          | 5,000,000   | 5,000,000   | 0          |
| 一般正味財産への振替額     | -40,642,802 | -34,638,260 | -6,004,542 |
| 当期指定正味財産増減額     | -838,260    | 4,161,740   | -5,000,000 |
| 指定正味財産期首残高      | 7,305,216   | 3,143,476   | 4,161,740  |
| 指定正味財産期末残高      | 6,466,956   | 7,305,216   | -838,260   |
| III 正味財産期末残高    | 89,807,652  | 81,155,969  | 8,651,683  |

正味財産増減計算書内訳表

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

| 科 目          |             | 公益目的事業      |            | 合 計         |
|--------------|-------------|-------------|------------|-------------|
|              |             | 学術振興事業      | 法人会計       |             |
| Ⅰ 一般正味財産増減の部 |             |             |            |             |
| 1. 経常増減の部    |             |             |            |             |
| (1) 経常収益     |             |             |            |             |
| 基本財産         | 財 産 運 用 益   | 1,253       | 0          | 1,253       |
| 基本財産         | 財 産 運 用 利 益 | 1,253       | 0          | 1,253       |
| 特定資産         | 財 産 運 用 利 益 | 255         | 0          | 255         |
| 受当事業         | 財 産 運 用 利 益 | 255         | 0          | 255         |
| 学術大会         | 財 産 運 用 利 益 | 5,709,500   | 5,709,500  | 11,419,000  |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 5,709,500   | 5,709,500  | 11,419,000  |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 138,105,422 | 4,460,361  | 142,565,783 |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 137,175,422 | 4,460,361  | 141,635,783 |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 92,293,679  | 4,460,361  | 96,754,040  |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 17,119,480  | 0          | 17,119,480  |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 22,571,780  | 0          | 22,571,780  |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 790,560     | 0          | 790,560     |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 1,350,000   | 0          | 1,350,000   |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 54,000      | 0          | 54,000      |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 1,923,345   | 0          | 1,923,345   |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 409,818     | 0          | 409,818     |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 432,000     | 0          | 432,000     |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 230,760     | 0          | 230,760     |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 930,000     | 0          | 930,000     |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 690,000     | 0          | 690,000     |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 240,000     | 0          | 240,000     |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 35,642,802  | 0          | 35,642,802  |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 838,260     | 0          | 838,260     |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 34,804,542  | 0          | 34,804,542  |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 7,125,000   | 0          | 7,125,000   |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 5,000,000   | 0          | 5,000,000   |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 2,125,000   | 0          | 2,125,000   |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 43,715      | 1,995      | 45,710      |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 84          | 1,995      | 2,079       |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 43,631      | 0          | 43,631      |
| 大会参加料        | 財 産 運 用 利 益 | 186,627,947 | 10,171,856 | 196,799,803 |
| (2) 経常費用     |             |             |            |             |
| 事業費          | 業 務 費       | 177,141,264 | 0          | 177,141,264 |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 30,354,425  | 0          | 30,354,425  |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 2,094,211   | 0          | 2,094,211   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 4,485,948   | 0          | 4,485,948   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 320,000     | 0          | 320,000     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 4,165,948   | 0          | 4,165,948   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 5,596,716   | 0          | 5,596,716   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 19,538,305  | 0          | 19,538,305  |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 1,799,385   | 0          | 1,799,385   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 17,738,920  | 0          | 17,738,920  |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 3,339,270   | 0          | 3,339,270   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 5,537,741   | 0          | 5,537,741   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 6,345,438   | 0          | 6,345,438   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 3,905,100   | 0          | 3,905,100   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 11,464,836  | 0          | 11,464,836  |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 475,200     | 0          | 475,200     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 2,153,952   | 0          | 2,153,952   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 4,293,129   | 0          | 4,293,129   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 3,637,228   | 0          | 3,637,228   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 905,327     | 0          | 905,327     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 1,512       | 0          | 1,512       |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 247,408     | 0          | 247,408     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 42,251,234  | 0          | 42,251,234  |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 2,068,794   | 0          | 2,068,794   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 340,470     | 0          | 340,470     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 23,487,730  | 0          | 23,487,730  |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 16,354,240  | 0          | 16,354,240  |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 3,137,019   | 0          | 3,137,019   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 3,159,112   | 0          | 3,159,112   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 4,082,784   | 0          | 4,082,784   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 4,949,934   | 0          | 4,949,934   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 867,000     | 0          | 867,000     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 13,177,477  | 0          | 13,177,477  |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 210,000     | 0          | 210,000     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 12,967,477  | 0          | 12,967,477  |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 120,668     | 0          | 120,668     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 34,300      | 0          | 34,300      |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 7,450,826   | 0          | 7,450,826   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 5,000,000   | 0          | 5,000,000   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 10,168,596 | 10,168,596  |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 5,083,144  | 5,083,144   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 1,588,482  | 1,588,482   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 255,688    | 255,688     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 1,332,794  | 1,332,794   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 139,391    | 139,391     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 315,761    | 315,761     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 1,148,886  | 1,148,886   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 1,017,876  | 1,017,876   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 126,360    | 126,360     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 4,650      | 4,650       |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 1,188,000  | 1,188,000   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 172,616    | 172,616     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 469,155    | 469,155     |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 63,161     | 63,161      |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 177,141,264 | 10,168,596 | 187,309,860 |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 9,486,683   | 3,260      | 9,489,943   |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 0           | 0          | 0           |
| 給法臨時         | 料 理 費       | 9,486,683   | 3,260      | 9,489,943   |
| 2. 経常外増減の部   |             |             |            |             |
| (1) 経常外収益    |             |             |            |             |
| 経常外収益計       |             |             |            |             |
| (2) 経常外費用    |             |             |            |             |
| 経常外費用計       |             |             |            |             |
| 当期経常外増減額     |             |             |            |             |
| 当期一般正味財産増減額  |             |             |            |             |
| 一般正味財産期首残高   |             |             |            |             |
| 一般正味財産期末残高   |             |             |            |             |
| Ⅱ 指定正味財産増減の部 |             |             |            |             |
| 受取補助金等       |             |             |            |             |
| 一般正味財産への振替額  |             |             |            |             |
| 当期指定正味財産増減額  |             |             |            |             |
| 指定正味財産期首残高   |             |             |            |             |
| 指定正味財産期末残高   |             |             |            |             |
| Ⅲ 正味財産期末残高   |             |             |            |             |

# 財産目録

平成29年 3月31日現在

公益目的事業会計

(単位:円)

| 貸借対照表科目 |                      | 場所・物量等        | 使用目的等          | 金額          |
|---------|----------------------|---------------|----------------|-------------|
| (流動資産)  | 現金                   | 手元保管          | 運転資金として        | 172,028     |
|         | 預金                   | 当座預金          | 寄附金口座として       | 720,306     |
|         |                      | 郵貯振替口座        |                | 720,306     |
|         |                      | 普通預金          | 運転資金として        | 106,233,261 |
|         |                      | 三菱東京UFJ銀行本郷支店 | 運転資金として        | 68,725,553  |
|         |                      | りそな銀行本郷       | 運転資金として        | 10,005,920  |
|         |                      | ゆうちょ銀行        | 運転資金として        | 2,703,347   |
|         |                      | みずほ銀行本郷支店     | 運転資金として        | 8,192,565   |
|         |                      | みずほ銀行本郷支店714  | 運転資金として        | 100         |
|         |                      | 千葉銀行東京営業部     | 運転資金として        | 11,497,919  |
|         |                      | 三菱東京UFJ銀行本郷支店 | 運転資金として        | 4,494,039   |
|         |                      | 科研費口座         |                | 0           |
|         |                      | 地球惑星科学振興西田賞口  |                | 2,218       |
|         |                      | 三井住友銀行        |                | 611,600     |
|         | 未収金                  |               |                | 15,000      |
| (固定資産)  | 未成事業支出金              |               |                | 18,653,103  |
|         | 学術振興事業               |               | 学術振興事業費用の前払分   | 18,653,103  |
|         | 預け金                  | スプリンガー        | PEPS出版費用       | 3,312,918   |
|         | 前払費用                 |               | 事務所賃借料の前払い分    | 282,742     |
|         | 仮払金                  | IASPE等        |                | 325,980     |
| 流動資産合計  |                      |               |                | 129,715,338 |
| (固定資産)  | 基本財産                 |               |                |             |
|         | 定期預金                 |               |                | 5,000,000   |
|         | 定期預金(一般)             |               | 公益目的保有財産である    | 5,000,000   |
|         | 特定資産                 |               |                |             |
|         | 地球惑星科学に関わる外国学協会との連携資 |               |                | 4,000,000   |
|         | 地球惑星科学振興西田賞準備資金      |               |                | 5,000,000   |
|         | その他固定資産              |               |                |             |
|         | 什器備品                 |               | 公益目的保有財産である    | 273,709     |
|         | ソフトウェア               |               | 公益目的保有財産である    | 15,562,036  |
|         | 保証金                  |               |                | 661,650     |
|         | 学会センタービル             |               | 事務所の保証金        | 661,650     |
| 固定資産合計  |                      |               |                | 30,497,395  |
| 資産合計    |                      |               |                | 160,212,733 |
| (流動負債)  | 未払金                  |               |                |             |
|         |                      | 科研費返納金        | JSPS           | 9,978,342   |
|         |                      | 科研費経費         | 出版費用等          | 2,495,458   |
|         |                      | 西田賞受賞者        | 西田賞表彰費         | 1,998,497   |
|         |                      | フューチャリズムワークス  | 年間保守費          | 5,000,000   |
|         |                      | 大塚商会等         | コピー使用料等        | 151,552     |
|         |                      | 労働基準監督署       | 労働保険料          | 142,292     |
|         | 未払費用                 |               |                | 190,543     |
|         | 給料手当                 |               | 給料の未払い分        | 2,941,294   |
|         | 通勤手当                 |               | 通勤費の未払い分       | 2,430,745   |
|         | 健・厚保険料等              |               | 健康保険・厚生年金保険料等の | 216,468     |
|         | 未成事業受入金              |               |                | 294,081     |
|         | 学術振興事業               |               | 学術振興事業収入の前受分   | 45,476,220  |
|         | 前受会費                 |               | 会費収入の前受分       | 45,476,220  |
|         | 預り金                  |               |                | 6,027,000   |
| (流動負債)  | 給与源泉税                |               | 給与源泉税の預り分      | 383,629     |
|         | 報酬源泉税                |               | 報酬源泉税の預り分      | 197,277     |
|         | その他                  |               |                | 73,552      |
|         | 仮受金                  |               |                | 112,800     |
|         | 未払消費税等               |               | 2017年大会NASA経費  | 2,809,896   |
| 流動負債合計  |                      |               |                | 2,788,700   |
| 負債合計    |                      |               |                | 70,405,081  |
| 正味財産    |                      |               |                | 70,405,081  |
|         |                      |               |                | 89,807,652  |

財務諸表に対する注記及び附属明細書

平成29年3月31日現在

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

1．継続事業の前提に関する注記  
該当なし

2．重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当なし
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
該当なし
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
什器備品 3年間の均等償却。  
ソフトウェア 定額法、
- (4) 引当金の計上基準  
該当なし
- (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲  
該当なし
- (6) 消費税等の会計処理  
税込方式によっている

3．会計方針の変更  
該当なし

4．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

| (単位：円)                  |            |           |           |            |
|-------------------------|------------|-----------|-----------|------------|
| 科 目                     | 前期末残高      | 当期増加額     | 当期減少額     | 当期末残高      |
| 基本財産                    |            |           |           |            |
| 定 期 預 金                 | 5,000,000  | 0         | 0         | 5,000,000  |
| 基本財産計                   | 5,000,000  | 0         | 0         | 5,000,000  |
| 特定資産                    |            |           |           |            |
| 地球惑星科学に関わる学国学協会との連携推進費用 | 0          | 9,200,000 | 5,200,000 | 4,000,000  |
| 国際化推進準備資金               | 2,300,000  | 0         | 2,300,000 | 0          |
| 地球惑星科学振興西田賞             | 5,000,000  | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000  |
| 特定資産資産計                 | 8,100,000  | 5,000,000 | 5,800,000 | 9,000,000  |
| 合計                      | 13,100,000 | 5,000,000 | 5,800,000 | 14,000,000 |

5．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

| (単位：円)                  |            |                  |                  |                  |
|-------------------------|------------|------------------|------------------|------------------|
| 科 目                     | 当期末残高      | (うち指定正味財産からの充当額) | (うち一般正味財産からの充当額) | (うち負債に<br>対応する額) |
| 基本財産                    |            |                  |                  |                  |
| 定 期 預 金                 | 5,000,000  |                  | (5,000,000)      | (0)              |
| 基本財産計                   | 5,000,000  | 0                | (5,000,000)      | (0)              |
| 特定資産                    |            |                  |                  |                  |
| 地球惑星科学に関わる学国学協会との連携推進費用 | 4,000,000  | 0                | (4,000,000)      | (0)              |
| 地球惑星科学振興西田賞             | 5,000,000  | (5,000,000)      | (0)              | (0)              |
|                         |            |                  |                  |                  |
| 特定資産計                   | 7,300,000  | (5,000,000)      | (2,300,000)      | (0)              |
| 合計                      | 12,300,000 | (5,000,000)      | (7,300,000)      | (0)              |

6．担保に供している資産  
該当なし

7．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

| 科 目         | 取 得 価 額    | 減価償却累計額    | 当 期 末 残 高  |
|-------------|------------|------------|------------|
| 什 器 備 品     | 1,130,462  | 856,753    | 273,709    |
| ソ フ ト ウ ェ ア | 36,277,987 | 20,715,952 | 15,562,035 |
| 合 計         | 37,408,449 | 21,572,705 | 15,835,744 |



8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
該当なし

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発負債  
該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

| 補助金の名称      | 交付者     | 前期末残高     | 当期増加額      | 当期減少額      | 当期末残高     | 貸借対照上の記載区分 |
|-------------|---------|-----------|------------|------------|-----------|------------|
| 科学研究費補助金    | 日本学術振興会 | 2,305,216 | 34,804,542 | 35,642,802 | 1,466,956 | 指定正味財産     |
| 地球惑星科学振興西田賞 | 西田篤弘    | 5,000,000 | 5,000,000  | 5,000,000  | 5,000,000 | 指定正味財産     |
|             | 合計      | 7,305,216 | 39,804,542 | 40,642,802 | 6,466,956 |            |

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高  
該当なし

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

|                        |            |
|------------------------|------------|
| 科学研究費補助金使用による振替額       | 35,642,802 |
| 受取寄附金 地球惑星科学振興西田賞への振替額 | 5,000,000  |
| 合計                     | 40,642,802 |

14. 関連当事者との取引の内容  
該当なし

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引  
該当なし

16. 重要な後発事象  
該当なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表に対する注記5.に記載しており、内容の記載を省略する

2. 引当金の明細

該当なし

# 監査報告書

平成 29 年 5 月 1 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
代表理事（会長） 川 幡 穂 高 殿

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
監事 鈴木 善和



私監事は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの公益社団法人日本地球惑星科学連合第 6 期事業年度における会計及び業務の監査を行った。その結果につき次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法の概要

- （1）会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続きを用いて財務諸表の適正性を検討しました。
- （2）業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討しました。

## 2. 監査意見

- （1）正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、公益社団法人日本地球惑星科学連合の第 6 期事業年度の正味財産増減の状況及び同事業年度末日現在の財政状態を適正に示しているものと認めます。
- （2）事業報告書の内容は、事実に従い、公益社団法人日本地球惑星科学連合の状況を正しく示しているものと認めます。
- （3）理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

# 監査報告書

平成 29 年 5 月 1 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
代表理事（会長）川 幡 穂 高 殿

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
監事 北 里



私監事は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 6 期事業年度における会計及び業務の監査を行った。その結果につき次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続きを用いて財務諸表の適正性を検討しました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討しました。

## 2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、公益社団法人日本地球惑星科学連合の第 6 期事業年度の正味財産増減の状況及び同事業年度末日現在の財政状態を適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、事実に従い、公益社団法人日本地球惑星科学連合の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

# 監査報告書

平成 29 年 5 月 1 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
代表理事（会長）川 幡 穂 高 殿

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
監事 氷見山 幸夫



私監事は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 6 期事業年度における会計及び業務の監査を行った。その結果につき次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続きを用いて財務諸表の適正性を検討しました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討しました。

## 2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、公益社団法人日本地球惑星科学連合の第 6 期事業年度の正味財産増減の状況及び同事業年度末日現在の財政状態を適正に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、事実に従い、公益社団法人日本地球惑星科学連合の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

**公益社団法人日本地球惑星科学連合  
定款第7条変更の件**

**第2章 会員及び社員**

**第2章 会員及び社員**

**(旧)**  
(法人の構成員)

**第7条** この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 この法人の目的及び事業に賛同して入会した地球惑星科学に関わる又は関心を持つ個人
- (2) 団体会員 この法人の目的及び事業に賛同して入会した地球惑星科学に関わる学術 研究団体
- (3) 賛助会員 この法人の事業を賛助するため入会した個人又は団体
- (4) 名誉会員 この法人に功労のあった者又は学識経験者で社員総会において推薦された者

2 この法人は、正会員の中から選出された代議員及び団体会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下、「法人法」という。）上の社員とする。

(以下省略)

(代議員の定数、選出方法、任期及び欠員措置) (変更なし)

**第11条** 代議員の定数は、80名以上200名以内で社員総会において別に定める数とする。

**(新)**  
(法人の構成員)

**第7条** この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 この法人の目的及び事業に賛同して入会した地球惑星科学に関わる又は関心を持つ個人
- (2) 団体会員 この法人の目的及び事業に賛同して入会した地球惑星科学に関わる学術 研究団体
- (3) 賛助会員 この法人の事業を賛助するため入会した個人又は団体
- (4) 名誉会員 この法人に功労のあった者又は学識経験者で社員総会において推薦された者

2 この法人は、正会員の中から選出された代議員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下、「法人法」という。）上の社員とする。

(以下省略)

(代議員の定数、選出方法、任期及び欠員措置) (変更なし)

**第11条** 代議員の定数は、80名以上200名以内で社員総会において別に定める数とする。

## 第4章 社員総会

(旧)  
(構成)

**第27条** 社員総会は、団体会員及び代議員をもって構成する。

2社員総会における議決権は、団体会員及び代議員それぞれ1名につき1個とする。

## 第4章 社員総会

(新)  
(構成)

**第27条** 社員総会は、全ての代議員をもって構成する。

2社員総会における議決権は、代議員1名につき1個とする。

## 第6章 学協会長会議

(設置等) (変更なし)

**第48条** この法人は、団体会員の代表者を委員とする学協会長会議を設ける。

2学協会長会議は、理事会の諮問に応え、理事会に対し、意見を述べることができるとともに、理事会の承認のもと、その名において対外的な意見の表明ができる。

## 第6章 学協会長会議

(設置等) (変更なし)

**第48条** この法人は、団体会員の代表者を委員とする学協会長会議を設ける。

2学協会長会議は、理事会の諮問に応え、理事会に対し、意見を述べることができるとともに、理事会の承認のもと、その名において対外的な意見の表明ができる。

(新)  
附則

1この定款は、附則を除き、この法人の設立の登記の日から施行する。

2 (略) . . . . .

11 第7条及び第27条の改正 (平成29年5月23日) については、平成30年4月1日より施行する。

### 第3章 代議員の選挙

(旧)

(代議員の定数)

**第6条** 代議員の定数は、理事会の定めにより別に設ける代議員の選挙のための正会員による選挙の日を公示した日(以下「選挙公示日」という。)の前日における団体会員の数の2倍とする。

### 第3章 代議員の選挙

(新)

(代議員の定数)

**第6条** 代議員の定数は、150名とする。

### 第5章 社員総会の運営

(旧)

(社員の出席)

**第15条** 代議員たる社員は、自ら又は他の代議員たる社員を代理人に選任して、社員総会に出席する。

~~2 団体会員たる社員は、代表者自ら若しくはその団体の役員、会員、社員若しくは使用人を指定して又は代議員たる社員を代理人に選任して、社員総会に出席する。~~

~~3 社員総会の招集通知は、定時総会にあつては4月末日現在、臨時社員総会にあつてはその開催日の3週間前の時点での社員名簿の登録に従って発すれば足りるものとする。~~

~~4 社員総会に出席する者は、会場の受付にて、次のとおり、その出席資格の確認を受けなければならない。~~

- ~~(1) 代議員たる社員本人が出席する場合には、本人であること~~
- ~~(2) 代議員たる社員又は団体会員の代理人として出席する場合には、委任状等の提出によりその代理権を有する者であること~~
- ~~(3) 団体会員たる社員の代表者が出席する場合には、その団体の代表者本人であること~~
- ~~(4) 団体会員から指定を受けた役員又は使用人として出席する場合には、その旨の書面~~

~~により、その団体から指定を受けた者であること~~

~~5 代理人欄が空欄の委任状が提出された場合には、社員総会の議長が選任されたものとみなす。~~

### 第5章 社員総会の運営

(新)

(社員の出席)

**第15条** 代議員たる社員は、自ら又は他の代議員たる社員を代理人に選任して、社員総会に出席する。

2 (削除)

2 社員総会の招集通知は、定時総会にあつては4月末日現在、臨時社員総会にあつてはその開催日の3週間前の時点での社員名簿の登録に従って発すれば足りるものとする。

3 社員総会に出席する社員は、会場の受付にて、その出席資格の確認を受けなければならない。

4 代理人欄が空欄の委任状が提出された場合には、社員総会の議長が選任されたものとみなす。

(新)

附則

(1) この規程は、この法人の設立の登記の日に遡って適用されるものとする。

(2) (略)

.....

(6)平成29年5月23日 第6条及び第15条改正。第15条改正については、平成30年4月1日から施行する。